京城日報

三十日夕刊 （朝夕刊併せて八頁）

◎敵軍成功と意義

伊太利戰線に於ける獨墺軍の成功は軍事上のみならず政治上にも重大なる意義を有するものと解せらる何んとなれば之に依りて獨墺兩國關係の著しく乖離せる現狀を恢復す可く且つ平和に戀々たる墺國の狀態に一道の活氣を與へしものなればなり伊太利戰線の獨軍中にはマッケンゼン將軍の下に露國戰線より轉ぜる兵士新たに加はり居れり（倫敦特電）

◎墺軍ゴリチア占領

墺太利公報に曰く墺太利軍はゴリチアを占領し伊太利軍はイソンゾ河を超ゑて退却したり（アムステルダム電報）

◎獨宰相辭表提出

獨宰相ミハエリス博士は國內の反政府輿論沸騰に鑑み皇帝の手許迄辭表を提出せりと（倫敦）

◎米自由公債成功

華盛頓來電＝自由公債募集は非常の成功を收め應募額は五十億弗を超過せり（倫敦電報）

◎吉林軍界の動搖

北京電報＝督軍は北京政府の電命に依り黑龍省と聯合して吉林討伐軍を組織するの報傳はりたるより吉林軍界は動搖し吉林旅長中には之れに內應せんとするものあるが如く孟督軍は軍署を長春に移し敗戰の曉は日本附屬地に逃れて其の保護を受けんとする準備を爲しつゝありとの報あり（奉天特電）

◎政府陸榮廷妥協か

陸榮廷氏は代表者を密派して中央政府との秘密協議を進行せしめつゝある由消息に依れば妥協の希望充分なりと云へり湖南方面に大戰なきは之が爲めならんと觀測せらる（北京特電）

◎獨汽船引渡同意

北京政府は舊獨逸汽船九隻合計約三万噸を聯合國側の傭船料率に從ひ聯合國の使用に供する爲め英國に引渡す事に同意したり（北京特電）

◎海軍新計畫斷行

帝國海軍は時局に鑑み約二億圓の新補充計畫を樹て愈々之を斷行すべしと（東京電報）

◎小額紙幣發行と說明

小額紙幣發行の件は緊急勅令を以て公布せられたること既報の如くなるが大藏省當局の說明に依れば時局以來產業界の旺盛一般經濟界の好景氣に伴ひ補助貨に對する需要を激增し政府は極力之が鑄造を急ぎつゝあれども造幣局の鑄造力には自ら限度有り急需に應ずる能はず此の狀態を持續して年末決濟期に入らば諸弊濫出し一般經濟界の紊亂を來たすの虞れ無きにあらざるを以て臨時應急の措置を施したるものにて本年內に二千萬圓及び來年三月迄に一千萬圓合計三千萬圓を發行する豫定にて尙必要に應じ發行すべく新紙幣の市場に現はるゝは十一月初旬なるべし（東京特電）

◎天長節祝日 觀兵式

天皇陛下には三十一日代々木練兵場にて天長節祝日觀兵式を行はせらるべく當日午前七時三十分宮城御出門第一公式鹵簿に依り伏見宮博恭王東久邇宮稔彥王兩殿下始め奉り波多野宮相以下供奉員に從へさせられ代々木練兵場に行幸遊ばされ同十一時三十分宮城に還幸、正午各宮殿下を始め內外臣僚一千餘名を豐明殿千種の間東溜の間に召され御宴を賜はり午後六時より伯子男爵有位の華族に賜饌の御沙汰あらせらるべし（東京特電）

□行幸啓仰出

天皇皇后兩陛下には來る十一月五日東京御發輦京都へ行幸啓遊ばされ更らに天皇陛下には特別大演習御統裁の爲十三日京都御發輦滋賀縣下へ行幸あらせらるゝ旨二十七日仰出させられたり御豫定日割左の如し（東京）

▲十一月五日 午前七時五分御發輦同七時二十分東京驛御發車午後四時名古屋御着車（行在所名古屋離宮）

▲六日 午前九時三十分名古屋離宮御出門同九時五十五分名古屋驛御發車午後一時五十五分京都驛御着車（行在所京都皇宮）

天皇陛下

▲七日より十二日迄京都御駐輦

▲十三日 午前零時三十分京都皇宮御發輦同一時京都驛御發車同二時卅五分彥根驛御着車（大本營滋賀縣立彥根中學校）

▲十四日より十六日迄演習御統裁

▲十七日 午前閱兵式午後賜宴

▲十八日 午前六時大本營御發輦同六時十五分彥根驛御發車午後五時東京驛御着車還幸

皇后陛下

▲十三日より十七日まで京都御滯在

▲十八日 午前十時十分京都皇宮御發輿同十時四十分京都驛御發車午後一時四十分名古屋驛御着（御泊所名古屋離宮）

▲十九日 午前七時二十五分名古屋離宮御出門同七時四十五分名古屋驛御發車午後四時三十五分東京驛御着車還啓

◎三勅令公布

三十日勅令第二百四號、第二百五號、第二百六號を以て軍事救護法施行期日の件、軍事救護施行に關する件、軍事救護法施行令公布されたり（東京特電）

◎信任狀捧呈

新任駐日米國大使ローランド、エス、モーリス氏は三十日午前十時三十分同國大統領閣下の信任狀捧呈の爲め參內、鳳凰の間にて天皇陛下に拜謁仰付けられ優渥なる御沙汰を賜はり次いで桐の間にて皇后陛下に拜謁し十一時退出したり（東京特電）

◎小田切氏奉天發

正金銀行重役小田切滿壽之助氏は三十日午前九時三十分奉天發列車にて東上の途に就けり（奉天特電）

◎松崎水產會社長

日本水產會社長松崎壽一氏は三十日朝釜山著午前十時三十分發列車にて京城に向へり（釜山特電）

◎天長節觀兵式

卅一日は天長節祝日なるを以て同日午前十時より龍山練兵場に於て觀兵式を擧行すべく京龍駐在各部隊參加し步兵第七十八聯隊長池內大佐之が指揮官たるべしと

步兵第七十八聯隊 ▲龍山騎兵中隊 ▲龍山砲兵中隊 ▲朝鮮步兵隊

◎京畿道祝賀式

本月三十一日京畿道に於ける天長節祝賀式次第を聞くに左の如し

（一）式場會議室（二）午前八時五十分御影を奉掲す（三）午前九時高等官及び判任官一同式場に參入、幕を除く松永道長官御影に進み最敬禮次に參與官次に第一部長次に第二部長次に他の高等官席順に依り各御影前に進み最敬禮次に判任官一同進み出で『判任官一同謹奉賀天長節』の祝詞を述べ松永長官申報すべき旨を答ふ、一同退出（四）雇員一同式場に參入、幕を除き最敬禮、幕を垂る一同退出

◎遞信當面の諸問題

持地遞信局長官の談

久しく東上中なりし遞信局長官持地六三郎氏を訪ひ其の歸來談を聞くに長官は曰く今回予の東上は寺內首相外各大臣に對する新任挨拶殊に遞信省と總督府遞信局とは法規を一にするもの多く從つて田遞相初め

▲遞信省當局 と諸種事務並に案件の打合せを必要とせしため滯在も比較的永引いた次第である、歸途は大阪にも立寄り二三の所用を辨じたが特に何と云つてお話し得る程纏つたものもない、例の朝鮮簡易生命保險は過般もお話した通り行る事は確にやる、唯其の方法と期日は未だ確定しない、今回も相當中央の主務官廳と協議をして見たが先づ內閣の拓殖局は直ちに實施しても差支へないとの意向だけれど、法制局の方は教育程度其他の點より觀て尙早の意見のやうで、今期の議會に關係法案の提出を見る事となるや否やは尙言ひ兼ねる

▲鮮人の民度 や、更に追々出穀季に入つて船腹問題も起らうとしてゐるが遞信局では既に夫々必要の方面に向つて手を盡してゐるし、又予は歸路大阪商船にも立寄り會社の當局とも會見して見たが、兎に角朝鮮の內地行き穀類を搬ぶに十分と行かなくとも相當の船腹は廻航せしむることの話しであつたから今年は恐らく去年程運賃問題も喧しくならうと思ふ、予の東上中朝鮮遞信協會の組織を發表し目下創立委員の手で其の會員の募集中である、協會の事業たる會誌の發行とか慶弔の寄贈とか云ふ事は多分明年一月より實行する事となるであらうが、右

▲協會の組織 と共に當然朝鮮遞信局員の共濟會を組織するの必要がある、協會は目下局員の精神的向上を圖るのを主眼とするもので、職務上より起つた疾病とか創傷とかを實質的に共濟する共濟會とは全く性質が違ふ、唯共濟會は國庫の補給を受けねばならぬし又關係法規の議會協贊を必要とするから協會の如く比較的手輕に著手は出來ない、然し必要な事は協會以上であるから、遠からず其の實行をなすべく今回遞信省の共濟會に關する

▲法規や規則 も準備のため可なり調べて來た、內地の郵便貯金も四億と云ふ聲を聞く樣になつた程迅速な增加率を示してゐる、朝鮮の郵便貯金を見るに增加の傾向を辿つてはゐるが、其の割合は極めて遲々として振はない、鮮人の氣風は最近內地程には決して眼覺めて居ない、然し朝鮮とても見込の無いものではない、景況は決して惡い方でない、事實は郵便電信電話などの收入が之れを明示してゐる

▲遞信收入の 增加と郵便貯金の增加とが伴はぬ嫌あるは結局鮮人の貯蓄思想の幼稚にある、で予は最近貯蓄獎勵の訓示を出したが、今後も出來るだけ郵貯の增加には力を盡して見たいと思ふ

◎小額紙幣發行と鮮銀の手形

▲小額紙幣發行 補助銀貨に代用すべき小額紙幣の發行は本紙京電報の如く廿九日勅令を以て公布されしが其の額面は既に傳へられし如く十錢廿錢五十錢の三種にして法貨としての強制通用力の機能は殆んど現在發行され居る銀貨と同樣十圓を限り其の差異なし唯講和條約調印の日より一年を經過したる後之を發行せざる事と定めたるは戰爭により騰貴せし銀も平和を迎ふれば又低落すべく當然銀貨の鑄造に差支へなしとの豫想より發行期間の限定をなしたるものなるべし

▲手形は回收せん 小額紙幣の發行期は何日頃なるか並びに其の朝鮮廻送期は何月に入るべきか追つて其の朝鮮廻送を見れば目下拂出され居る鮮銀小額手形二十錢、五十錢の分を如何にすべきかに付中村鮮銀總務局長の談を聞くに小額紙幣發行の勅令は三十日朝刊の京城日報にて知りたる譯なるが其の市場の發行は十一月に入らば開始さるべきも本金庫より朝鮮への廻送は果して何日頃なるか未だ何等通知に接し居らず又小額紙幣發行されて朝鮮に廻送を見るに至らば當然客月末より朝鮮內に拂出しつゝある鮮銀の小額手形は回收に努め

▲滿洲方面 のみとする外なかるべし尙は小額紙幣の朝鮮廻送を見るまでは何等の顧慮なく手形の拂出は市場の需要により之れを行ふべし

◎漁業施行改規

漁業令施行規則中改正の件は十一月一日を以て實施せらるゝ事となれり、其の要旨は近時漁業の發達と共に漸く濫獲の弊を生じ裸潛漁業及桁網漁業の如きに於て其の甚しきものあるを認め又た届出漁業と免許漁業との漁法の相違は僅少の差に過ぎざるが爲め前者が漁業を爲して後者の區域を侵犯し加之に取締上兩者の判別に苦しむ等の不都合あるを以て是れ等の點に改正を加へるにあり

◎定例長官會議

三十日は定例長官會議日なるより長谷川總督山縣政務總監以下各部長官局長等午前十時より總督府第一會議室に參集通常政務に就き協議打合の上正午散會したり

◎郡參事任命

京畿道水原郡參事趙基顯氏は二十四日退職し禹成鉉氏其の後任として同日附任命されたり

◎古海總長動靜

陸軍特別大演習陪觀の爲め廿七日夜京城發東上の途に就きたる古海鐵務總長は二十九日午後京都著直ちに京都ホテルに投宿せり二三日同地滯在の上東上の旨筋に著電ありたり

◎久保局長歸京

元山に出張中なりし久保滿鐵京管局長の一行は三十日午後五時十分南大門驛著列車にて歸京せり

◎大田理事來京

大連駐在の鮮銀理事大田三郎氏は二十九日青島の出張先より歸連せしが近く入京の上東上の途に就くべしと

◎露國事情講演

入京中の鮮銀哈爾賓支店長阿部讓氏は二十九日午後五時半より七時迄銀行集會所に於て今回同氏が實地視察せる各方面の露國事情を講演せるが聽講者多數ありき

人事消息

▲關議瑞伯 三十日午前鳥致院へ
▲藤田虎之助氏（東亞煙草重役） 三十日午前[illegible]
▲[illegible]（[illegible]銀行員） 三十日[illegible]
▲[illegible]
▲[illegible]氏（[illegible]） 同上
▲[illegible] 二十九日出京
▲[illegible] 卅日朝出京
▲藤田虎之助氏（東亞[illegible]） 同上
▲加藤一郎氏（大邱[illegible]） 卅日朝入京不日[illegible]
▲總督府[illegible]滿洲[illegible]一行 三十六名は二十九日午後[illegible]三十日午後[illegible]にて大連へ向ふ

彼れ此れ

○明日は天長節祝日也、[illegible]權威にある者、[illegible]新附の國民と共に、手を取り、肱を交へて、此の佳節を祝す。○年と共に其の祝る諸君と共に、大に祝さん哉。○明日も亦、[illegible]の辭が、東海の天に[illegible]せん事を。

○リガ方面獨軍の退却は、新に開拓せられたる作戰に非ずして、全く冬籠りの準備にあるが如し。果して然らば、シワルの進擊も、露都の脅威も、先以て年內には行はれざるべしと、見て可ならんか。從て露國の遷都も、延期せらるゝに至らん。

○露國前國會議長ロヂアンコ氏は、民主系を代表して、陸軍の現狀を悲しむも、今や過渡期にあり、平和締結は、露國をして政治的奴隷の境遇に導き、歐洲に於て、露國を孤立せしむるものなりと喝破す。秩序紊亂、軍紀廢頽を以て聞ゆる露國にも、尙ほ此の好漢あり、以て人意を强ふするに足らむ。

○重要なる勝利を傳へられし伊軍は、頃日敗報頻りで到る。而も一塊を取つて、二を失へるが如し。伊國の未だ屈せざるは、其れ之れにあるか。

漱石全集

本日〆切

決然申込まれよ

機會は刻々逸せんとす

人生は短し永遠の書を求めよ

日本が生める世界的文豪を永久に記念すべき漱石全集を求めて之を兒孫に傳へよ之れ明治大正に生を此邦土に享けたるものゝ後代に對する當然の責務なり

警告

新聞延著の地は此廣告を見て即時申込金三圓を拂込まれなば豫約の權利を保留せらるべし

體裁 各冊菊判約八百頁 天金箱入 裝幀故先生意匠總ボプリン製 表紙木版朱手摺伊上凡骨氏 本文用紙白菱 東京築地活版所印刷

署規

非賣品 豫約者にのみ頒つものとす

拂込 每月拂金參圓一時拂込金三十三圓五十錢

申込 金三圓を添へ申込まれたし此申込金は最終の拂込に當つ 送料（一冊）市內四錢、內地十二錢、滿、鮮四十錢、外國六十二錢

配本 大正六年十二月一日より向一箇年間每月一冊全十二冊完結

申込期限 十月三十一日

申込所

京城本町一丁目 大阪屋號 電話六八四・二 振替京城二五〇七〇三八六番

京城本町二丁目 巖松堂 電話一四一六 振替二一五六四六番

豫約元 東京神田區南神保町十六 岩波書店內 電話本局五四二〇 振替東京三八一五一 漱石全集刊行會

奉祝

京城電氣株式會社

金の有難味が薄い

資本家は大金を擁して遣り繰りに苦しみ勞働者は勞銀は得ても日常品を購ふ事が出來ぬ

露都及び莫斯科に於ける物資の缺乏甚しく小麥の如き一プード四五留であつたのが八十五留に暴騰し靴の如きは日本で七八圓の物が百圓以上出しても容易に手に入れる事が出來ない、而已ならず輸入が禁止されて以來と言ふ者は

▽大商店などは 營業時間を短縮して午前午後とも二三時間宛開店するのみであるから金があつても購ふ事が出來ず、政府指定の販賣店の前には群集の堵列數丁に達し空腹を忍んで半日以上も待つて居ると言ふ狀態であるから悲慘だ、併し乍ら斯樣に極端な窮乏に陥つて居るのは單に露都や莫斯科のみで地方に在つては物資豊饒で寧ろ輸送機關の

▽不完全に基く 物資の分配に苦しんでゐる、露國は領域が廣大である、從つて鑛物に於て農産物に於て漁業に於て林業に於て無限の富源を藏して居るから之れを開拓さへすれば物資に窮乏する樣な事は絶對にないが政府の産業政策がなつて居ない爲め寶の持腐れとなつて國民は米顆を抱き乍ら餓ゑに哭いて居る樣な醜態を演じて居る斯樣に

▽大産物は無限 であつても産業が振はず生産物が潤澤であつても工業が幼稚であり經濟組織が混亂して居るから國家經濟は勿論國民生活の上に非常な危機を招いて今や兩よ可らざる窮狀に陥つてゐる假令は食糧にしても鐵道政策が不完全であるからシベリヤ線の如き運轉されない貨車が到る處にゴロ〳〵して居り乍ら沿線各地は穀物の搬出意の如くならず

▽滯貨は山積し て毫も需要地に向かない從つて之れが兇變多難の場合に於ける戰時狀態かと疑はれる程閑散を極めて居る加之に地方では政府の買上相場が廉い爲め潤澤な物貨を貯藏して居ても之を賣惜しんで町に出さないから全露西亞は今や全身不隨狀態となつて困憊疲弊の極に達してゐるに反して國内には百五六十億の大金が落ちて居るから金は有り餘つてゐる其結果

▽金融は緩漫で 資本家は大金を擁して居り乍ら運轉に苦しみ勞働者は勞銀は得ても日常品を購ふ事が出來ぬから金の有難味が薄い從つて金の價値は下落して了ふ、事此に至つては露國現下の經濟組織は四離滅裂破綻百出で到底救濟する事は出來ず國を擧げて刻一刻と禍難の深淵に投せられつゝ有るのである（鮮銀哈爾賓支店長阿部讓氏談）

□總督大鷲寄贈

長谷川總督は此の程元山の知人より大鷲一羽の寄贈を受けしが二十八日更めて總督の名に依り之を李王職動物園に寄贈したり

◉線路を破壞して排水 村民の暴狀

二十九日夜大阪府下西成郡郡民千數百名は箕面電車線路の爲め排水意の如くならざるより水害に苦しめる際とて興奮の結果線路を破壞し排水路を作り暴狀甚だしく其筋の手にて漸く取鎭め村民代表者と會社代表者とは目下會見中なり（大阪特電）

◉各學校聯合旗行列

市中の盛なる町飾りと假裝行列

天長節祝日當日の奉祝方法は先づ京城官公私立の各專門學校以下日鮮各小學校聯合の旗行列をはじめとして市民奉祝會の一大提灯行列等盛んに行はるべく旗行列は

▣各學校生徒 約一萬五千人同日十一時より日出學校廣場及び敦化門通りの大道路に逐次集合し十二時を合圖に各學校長指揮の下に總督官邸に至り　聖壽萬歳を奉唱して隨意退散すべく亦市民奉祝會の提灯行列は午後六時景福宮前に集合

▣午後六時半 景福宮前出發新橋町より大漢門前を經て南大門通に出で左折して朝鮮銀行前に至り本町に入り電氣瓦斯會社角を右折し南山町を上り倭城臺町京城婦人會前を左折し警務總長官邸前を經て總督官邸門前に至り『萬歳』夫れより日出町に出で小學校角より右折し大和町に至り政務總監邸前を經て大和町より本町五丁目電車終點に出で左折し

▣東大門通に 至り更に左折し東大門通を鐘路に向ひ昌德宮前（東大門通より入口）にて『萬歳』夫より鐘路に至り左折して南大門通を黄金町一丁目（黄金町電車終點）に出で更らに右折し黄金町を太平通りに至り京城日報社前廣場にて『陛下萬歳』を三唱して解散すべくこの外各券番にては

▣別に催し物 をなさざる由なるも新町遊廓にては何か珍趣向を凝して賑はひを添ふる筈にてその外市中の各町內、會社、商店等にてはいづれも山車家臺を曳き出し或は假裝行列などを出して町中を縱横に練り歩くなるべく、市中にては

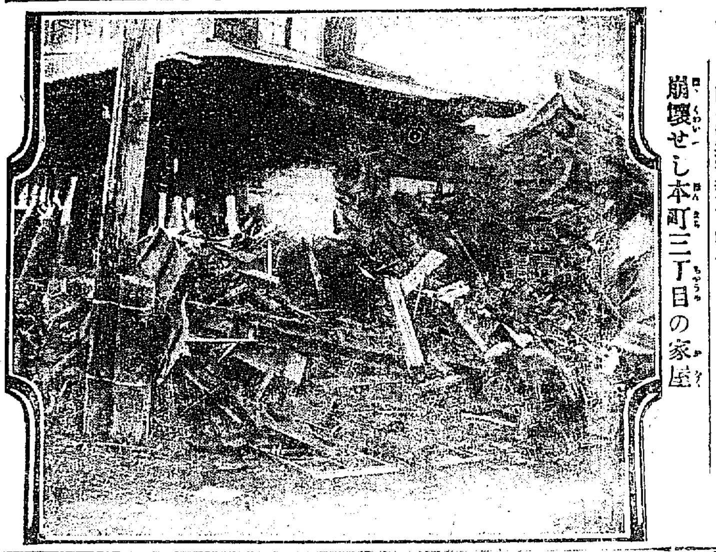
▣本町通りを 筆頭として各町共三十日朝より盛んなる町飾りを爲しつゝあり市民の熱誠なる祝意は市中に横溢して沸き返る賑はひを呈する事なるべし

◉家屋俄然崩壞 修繕工事中

三十日午前五時三十分頃市內本町三丁目三十五番地足袋商角南ときの瓦葺温突平屋建家屋十坪の家屋が怪たゝましき

▲大音響と共に 俄然崩壞したるが折柄ら同家には主婦とめは不在なりしも同人娘イツ（一五）姪望田あさゑ（二八）及び同町三丁目三十五番地雜貨商岡野ハツヱ（三九）が留守居をなしゐたるが幸ひにも早く避難せしため微傷だも負はざりしは何よりの事なりし右に就き崩壞せし原因を聞くに同家は本町二丁目梶原商店地所家屋部の所有に係るものなりしも先頃本町三丁目居住の宮良某なる者に讓渡し宮良は之を修理せんとて二十九日修繕工事に着手し

▲柱の根元を 掘取り夜に入りしを以て翌日柱を建替へんとて其儘になし置きたるを柱根元が腐朽し居たるため遂に崩壞したるものなりと因みに損害約三百圓也



崩壞せし本町三丁目の家屋

◉京城の初氷

二十九日午後より氣温頓に低下し三十日午前六時より七時迄の間に於ては零度四分を示すに至り處々に結氷を見たり

◉裁判所で自殺 列車爆發事件の嫌疑者

十八日九州線早岐驛發の列車爆發事件に關し其後探査の歩を進むるに當時の二等客たる佐世保樋口棣曹樋口清が桃江と云ふ養子片山武江（三三）の元の養子海軍一等機關兵を殺害す可く手荷物內に爆彈を仕掛けしとの嫌疑あり同裁判所にて二十七日取調中突然清は自殺せり（大阪特電）

◉電車に觸る

二十九日午後七時半頃東大門行電車が南大門通商業銀行前を進行中三角町百十三番地尹永根妻同姓女（五三）が線路を横切らんとして反對より來れる龍山行き電車の救助網に觸れて前額部其の他に輕傷を負ひ共愛堂醫院にて應急手當を受けたり

◉六百餘圓横領

長崎縣商家[illegible]大岡三郎（三八）が本年二月より京城本町二丁目[illegible]和再造氏方に雇はれ貸家及び貸地の賃料取立に從事中七月より八月末迄に新町常盤樓外三十名より集金したる六百六十二圓七十二錢を横領して遊興消費したる一件は京城地方法院にて懲役一年の判決を受けしが之れを不服として同覆審法院に控訴せり

◉モヒ密賣は罰金

羅南居住醫師山本和太郎、松浦[illegible]外一名がモルヒネ密賣の事件にて清津檢事分局に於て取調べの末公判に附せられたるが二十四日松本は罰金五十圓松浦は同二十圓の處分となれり（淸津）

◉參加各町の意氣込み

天長節奉祝提灯行列の前景氣

天長節奉祝提灯行列は市中の前景氣素晴らしきものにて各提灯屋は必死に製造をなすも殆んど間に合はず電報を以て內地より取寄せしものも却々少數に非ず

◇各町よりの 參加は既報の如き[illegible]の外[illegible]に[illegible]の衣裝に[illegible]音樂隊を先頭として練り出すべくバイン萬年[illegible]ンの途中も假裝にて參加する由にて[illegible]市中[illegible]各町會商店[illegible]等の[illegible]的に

◇趣向を凝し 全部參加する筈なれば當夜の盛況も察せら[illegible]れ〳〵趣[illegible]なし朝鮮人側にても大[illegible]を[illegible]しつゝあるが[illegible]當日は午後三時より[illegible]て[illegible]宮[illegible]鮮[illegible]春[illegible]の唱歌妓生の演劇等あり[illegible]

◇各自持灯を 携へ奉祝[illegible]行列に參加する筈なりされば當夜の混雜[illegible]委員側にても成るべく混雜を避けんとも[illegible]の結果左の事項を決せり

一、各團體及び各町の行列は各々其の間に十五歩位の間隔を置く事

一、行列順序は京城日報毎日申報新聞大正[illegible]會を先頭とし夫より各團體各町は到着順により縱列出發の事

一、行列は廣き處は四人並び本町の如き狹き處は二人並び等臨機泥雜を避くる事

一、各團體及各町にては必ず取締世話役數名を選び目標として白襷を右肩より左の腋下に掛くる事

一、委員は目標として胸間に白色の徽章を著くる事

一、團體世話役及委員は夫れ〳〵行列の勝側に添ひ秩序の亂れざる樣注意する事

一、當夜の內地人側委員長として[illegible]の指揮者は大垣丈夫氏に鮮人側委員長としての指揮者は[illegible]氏に[illegible]委員長としては阿部充家氏を推薦せり

行列參加者の是非共心得置かれたき事項にして[illegible]其筋よりの注意は左の如し

一、各團體毎に相當の指揮者を附し行列の混亂を取締ること

二、團體以外の參加者に對しては五十八毎に指揮者を附し（前項の）取締を爲すこと

三、各團體の間隔は十五歩の距離を保つこと

四、乘車又は泥醉者を列員に參加せしめざること

五、異性の服裝又は風俗を紊るゝき服裝の者の行列を許さゞること

六、十二歳以下の者は參加せしめざること

七、提燈は柄共高さ六尺以下とし若し角形製或は一箇の竿に數箇の提燈を連ね吊すものは其全幅の三尺以內とすること

八、屋臺は提燈行列に參加せしめざること

讀者文藝（一等に五十錢を贈呈す）

△謎「落葉と掛けて」

〇チビリ下駄を解く心は捨てらる（一等）　京城　白水

[illegible]

◉獨逸に一年半の捕虜

小雛丸船長釋放されて歸る

昨年地中海に於て獨逸潜航艇の爲に擊沈せられたる村井氏のチャーター船小雛丸船長小澤太吉氏は一年半の長期間獨逸ヘルカバークの收容所に捕虜と成り居たるが此度釋放され露國を經て歸國の途中二十八日午後十一時長春を通過し朝鮮經由歸國せるが氏は獨逸が極端に食料に窮し居るも國民は皆元氣にて營養不良の狀態無く秩序井然俘虜に對しては取扱叮嚀にして些の不安なし然れど肉類其他の物資は全く影を止めず目下獨逸の潛航艇は五百隻ありて地中海には四十隻活動しつゝありと語れり（長春特電）

回夕陽に燃ゆる錦繡の屛風

金剛山中の美觀　△山田秋坪畫伯の談▽

大阪在住の南宗畫家山田秋坪氏は朝鮮觀光の途次數日入京目下巴城館に滯在、筆硯を叩いて彩筆を揮ひ居れるが氏はその畫眼に映じたる秋の金剛山を語る、曰く

私は今度の旅行に於いては時日が許さないために外金剛の一部より觀る事が能きなかつたのでしたがそれでも金剛山の概念は十分に頭に入れることが出來ました、金剛山の景觀は是まで

回諸名家に よつて讃美し盡されてゐるやうでありますが實に聞いてゐる以上なのに驚きました、その山全體は勿論纏まつた一つの畫ですし、部分的に觀ても到る所畫趣ならざるはない有樣です、ある一角の巖頭に腰掛けて

回寫生の筆 を運ばせて居る時なぞ、眼前に屛立する峻峭たる巖巒の形態のその餘りに奇なるに思はず眼眩むが如き感じに打たれることが屢々ありました、全山今や紅葉の眞ッ盛りで之れを遠くより望めば錦繡の屛風を立て廻らした如くに美しい

回山中に入 れば紅葉の外に楓、櫟、樫などがいづれも黄葉紅葉褐葉してその美しさは言語に絶するものがある、殊に朝夕陽が燦爛として紅葉の林を射ると唯さへ綺麗な木の葉は

回一枚一枚 に赤く燃ゑて美觀は一段と光彩を添ねる、紅葉繁り合ふ山中を分けてゆけば風少し吹く毎に木の葉はハラ〳〵と散りかへて帽子の縁を赤く染めるてういふ風であるから蹊といふ路は殆んど落葉で赤く

回巖の間も 小川の底も紅葉を呈して唯見れば朱が流れてゐるやうに見ゐる、秋の自然美があらゆる美觀は一に此處に集まつたかと思はれ、私なぞは實にいゝ時季に來たものだと思ひました、山は

回然程寒く はなく日中は歩いて居れば汗が滲み出る位でしたが、それでも立停まつて暫らく居ると薄著では多少寒さを感じました、秋の金剛山を探勝するならば茲十日以內位が絶好でせう、金剛山ホテルに泊ると

回曾て探勝 したことのある諸畫家が京城日報に掲げたスケッチを切抜いて備へてあるのを見ましたが、平福百穗氏の繪なぞは最も面白いと思ひました

◉娘の横腹を刺す

全北群山開福洞居住朴士善（四〇）は[illegible]附近の若者と[illegible]全福德を泣し來り責め立てたるに同人は遂に包み切れず醜行を自白したるより士善は憤怒の餘り二十[illegible]

◉圖々しい雇人

全北群山[illegible]浪北町[illegible]炭商李根永方の雇人李三[illegible]を使用し秤器の目方八貫七匁[illegible]りを多く誤魔化して其の増目代金を騙取したること發覺し舒川署に[illegible]は群山署に逮捕目下取調べ中

[illegible]二等（四十一名）須々木[illegible]兒玉[illegible]同[illegible]たけ子、同節子、同秀子、同辰[illegible]西村[illegible]酒[illegible]諸富者代治、島登喜、島中[illegible]伊東[illegible]吉[illegible]旬虎之助、中村政次[illegible]鳥[illegible]憲松蔵、金谷きみ[illegible]正元、島中治郎吉、李[illegible]性源、吳秀市[illegible]原茂[illegible]鈴町[illegible]梅畑四郎[illegible]賀[illegible]島野[illegible]芝木や

讀者文藝課題及募集規定

一口噺「其時々の事」　締切　三十日　發表　同一日

□募集規程　▲用紙は端書又は同形の用紙一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事　▲賞は一週間後▲種類の異る毎に用紙を更ふる事[illegible]一種二句以[illegible]

天氣

はれ

晴れ

（三十一日午後六時迄）（三十一日午後）

最高　十一月三十一日　最低[illegible]　十一時四十分　十九分

曆	日出	日入
十月[illegible]	六時五十六分	五時三十八分

潮	午前	午後
仁川	五時二十分	[illegible]
釜山	八時十四分	八時五十一分

奉祝天長節

南滿洲鐵道株式會社
撫順炭特約販賣所
京城　三國商會
電話本局長九〇〇・三〇〇・二〇八一番　振替口座京城一二九六番

平壤代理店　平松商店　電話長一六一番

京城　西村商會　電話九〇番

元山代理店　小泉商店　電話四五一番

天長佳節の歡は滿都に溢る
滿都愛飲家の祝盃はキリンビールに集る

宮内省御用達
京城本町壹丁目
明治屋京城支店

奉祝

東京建物株式會社

創立　明治二十九年　本店東京市日本橋區吳服町
資本金　五百萬圓　京城支店　京城黄金町
電話　一二八一番　一六八一番

營業科目
土地建物抵當貸附。土地建物賣買紹介。普通建物。建築請負。土地建物評價鑑定。月賦假返建物建築。

朝鮮製帽の前途(二)

ワングルの原料―獨特の漂白

―原料の生產三十萬貫―遂に本パナマを驅逐す可し―

朝鮮製帽は如何なる方面に向つて其の販路を開拓せんとするか所謂需給の關係を究めて其の事業の前途を語らざるべからず、然れども年々內地よりの海外輸出額に二百七十九萬八百二十三圓の多額算をしつゝあるを見れば朝鮮にて製出せらるゝ製帽も其の品質の優良なる限り將來海外輸出の盛運に達するは決して難きに非ざるべし、唯今日に於て少額の製品を大阪神戶に搬出し以て海外輸出を爲す事の不便なると

▲運賃其他の 雜費を加重し來る不利あるを以て今遽かに內地製品と同樣の輸出を企つる能はざるも將來之が製品の增大すると共に海運の便開け仁川港に於ける重要なる生產輸出品と爲るべきの日は將來正に到來すべきを想像するに難からず、而も現今にては大陸輸出を爲し滿洲浦鹽方面に於ける需用に對してゞ尙ほ莫大の製出を爲さざるべからざるを以て供給區域の開拓は實に擴大なるものと云ふを得べし、而して更らに近歐輸出の途開け本製品が彼等外人の

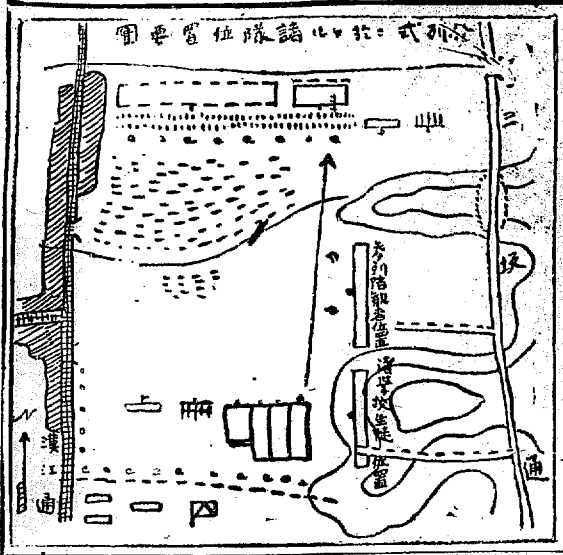
▲嗜好に投ず るを得ば現在內地製品の聲價を挽回し優に本パナマを驅逐して朝鮮製帽の獨占たるを得るに至るべし、現在製出しつゝある優良品に就て之を比較對照するも決して從來市場に見る所謂本パナマに些の遜色を見ざるは本製品の將來に向つて聊か意を强うするに足る處なり、而して之等は主として製帽原料の好適せると其の潔白に獨特の技能を費やせるとに依るは言を俟たざる處にしてワングルの植栽試驗の如き既に屢々

▲水原模範場 に於て最も愼重に之が栽培を研究せられたる結果今日にては其の播種、收穫等悉く一定の時機あるを證明せられ稍々理想に近き原料を得るに至れりと云ふ而して之が漂白法に就ては更らに一層の苦心を要すやせし處にして數十日間に亙る中央試驗場の考究も尙ほ完全の域に到達する能はざりしも倦怠なき努力は遂ひに有功なる發見を齎らし玆に初めて完全なる

▲獨特の漂白 を案出せらし過日增田氏は專賣權を獲得すべく之が特許を出願せりと亦以て技術の一般製帽界に卓越するを證するに足らむか、由來總べての植物中に在りて熱帶地方に產するものは其纎維多くは橫に發達せるも寒國に生植するものに到つては縱の纎維餘りに强硬なるを以て之が製織に柔軟を欠きて折損し易く製帽の如きには頗る不適當なりとせらるゝも進步せる化學の應用は遺憾なく此の不便を除却せられ今は全く

▲完全無缺の 原料を得るに至れりと、而して此の製帽原料たるワングルは朝鮮全道を通じて幾何の產額を有するや今遽かに之が確實たる數量を算上し能はざるも優に三十萬貫以上の生產は疑ひ無き處にして京畿道以南即ち比較的天候中和の地に多く北鮮地方に於ては其の生植質に做々たるが如し、即ち最近に於て確實なる調査を遂げ道當局より齎らせる生產數量の計上に依れば忠淸南道の十萬二千八十一貫を最多とし慶尙北道の八萬三千四百十二貫之に次ぎ全南四萬三千九百六十五貫其他咸鏡南北道の如きは併せて三千貫の生產に過ぎざるも

▲江華島のみ にても六千六百貫を產し其他調査未濟の方面を豫想する時は全道優に三十萬貫を超過すべきは斷言するに憚らざる處なりとす(仁川)



卅一日觀兵式擧行の龍山練兵場

芳菊百態

(三) 咸南 濱月生

皇室の御紋章は菊桐にして菊の十六瓣を五七の桐とし。菊水の旗風には足利北條の勢も靡き伏しぬ。菊一文字は菊作りとも云ひ後鳥羽天皇御製の銘刀。菊花大綬章は大勳位に叙せられたる時に授けらるゝ頸飾にして。菊著綿とは九月九日に菊の香をうつしとれる綿とす。菊銘石は珊瑚虫の一種にして。菊燈台は油皿を載す。亂菊に狐あり。菊判とは巾二尺一寸長三尺一寸の大きさの洋紙を十六片に切りたるもの菊綴とて直垂などの縫緒に綴む菊花形の如く折り平らめたるものを云ひ

△菊襲とは衣服 のかさねの名表は白裏は蘇芳色なりとぞ。菊の實は九月九日の菊見にて。陰曆九月は菊秋、菊月とも云ひ。團子坂の菊人形は知られ人も無かるべく。今は園技術の方盛なりと。植物には菊蓬あり蓬の一種とし。其の他菊萵苣、菊唐草(毛莨科)菊蟬は鳳仙花の異稱、菊菜はシユンギク。のこ菊虎は菊の葉を食ふ蟲又菊吸とも云ひ。人の名には延元元年足利尊氏を苦めたる菊池武義あり。木戶孝允は松菊とも號し。平敦經の家の子に菊王あり。孝女に白菊、遊女に玉菊あり。玉菊燈籠の由來名高し。講家には菊田伊洲、菊地幽芳あり。俳優に尾上菊五郎あり。園菊として併稱せらる菊亭は今出川の藤原兼季公にして菊模樣は衣服帶に用ゐられ、菊の座は菊の花形、金具の座にして、俵の紐は菊形に作るものと貝殼形とあり。我國にては古來此の花を『クク』と云ひ。培養せしも固有のものにあらず。朝鮮より傳へたりと云ふ。さればにや

△朝鮮語に菊を『クク』と云ふ支那に云ひ菊花を『クク』と云ふ。支那に於ては四君子の一として非常に之を貴び。五菊とは鵝毛、京太白、酢揭妃、玉牡丹、御愛の五種にして我國へは筑前の博多に移植せられたるを嚆矢とす。菊咲て菊作るれになりにけりと誰やらの句あり菊は實に巧妙なる培養によりて珍花を見ることを得べく。又た栽培には常に非常の趣味を伴ふと同時に全く一ヶ年を通して苦心する丈けに趣の津々たるものあり。此の勞するに隨つて深厚の趣味を感受し目得する所益多きを加ふ。天地の化育か總ての方面に如才なく。草花に對しても亦遺憾なく保護を加へ。世に訓育を與へ。同時に人をして慰撫稍斷せしむ。洵に民族爲の氣象は他種族との競爭によりて磨まされ。耐久の氣質も亦酷烈の氣候に抗して屈せざる習慣より來るとせば。菊の人世界に與ふる交涉と感化とは蓋し知るべきのみ

◎金光教說教 永樂町金光教會にては來る十一月一日、二日兩夜八時より同布教管理者生沼師、同布教師渋谷教正の說教あり多數信者及び一般信者の參聽を歡迎する由

お臺所 その日〳〵

▲鯛ぎよでん [illegible]

朝鮮人蔘の需要增加

朝鮮製藥合資會社の製品 支那大總統までも服用してる

朝鮮人蔘は古來萬病の靈藥として知られ、昔から之れを服用すれば康福限りなく病を攘ひ壽を延ふる不思議の靈草であると傳へられて居る、近來歐米諸國の醫學大家が先を爭ふて此の研究に從事した結果他の藥品に絕無なる

◎神秘の卓効 を有つて居ることを發見した、而して又た露國の細菌大家メチンコフ博士は朝鮮人蔘中の主成分は人體を老衰せしむる黴菌を撲滅すると力說して居る程で最近益々朝鮮人蔘の聲價を高め內外の世人に珍重さるゝこととなつたのである、只だ人蔘と云つても其產地は頗る多く日本內地又は支那、滿洲若しくは米國の紐育等にも產するのであるが其品質の優劣なる點に於ては何うしても本場朝鮮產の人蔘に及ぶものは無い、殊に朝鮮以外の人蔘は其品質と云ひ其効驗といひ甚だ劣等で殆んど

◎雲泥の差が あるのみならず往々異種類に屬するものがあつて、到底彼我同日の論ではない、特に朝鮮に於ても開城產は所謂大師が佛法に由て表明された如く人蔘と云へば開城產を指すことになつて居る、開城は元高麗の首府で松都を中心として其周圍八郡が最も優良の人蔘を產出する地方で人蔘に對する

◎天惠無比の 沃土なるが上に數百年來の經驗を積んだ完全な栽培法が傳つて居る。朝鮮總督府に於ては前記八郡に對して朝鮮人蔘の專賣制を布き年々支那に向つて多額の人蔘を輸出しつゝあるを見ても如何に朝鮮人蔘が世間に歡迎せらるゝか、立證せらるゝのである、京城(谷川町に於ける朝鮮製藥合資會社の純人蔘精は純粹の本場朝鮮人蔘中に含有する主成分を煎出し絕對に他の藥品を混合せず幾多專門家の

◎苦心研鑽の 結果精製したる純粹品であつて實に人蔘錠劑の約五倍以上の効力を有し効能も頗る顯著なるものであると云ふ今同社研究部の天野博士の發表を見るに朝鮮人蔘に『第一』精力を增せしめ『第二』胃腸の障害を除去し『第三』には腦神經、衰弱を回復し『第四』血液を增加して產前產後の婦人に特効がある『第五』には呼吸器及び內臟の機能を活潑ならしめ『第六』外用として關節の痛み、切傷、やけど、皮膚の吹出物等如何なる疾患にも奏効せざることなき結果を示すものである。殊に同社の謹製品として最も誇りとする處は畏くも

◎貴宮家の 御料藥として御賞上の光榮に浴し又中華民國大總統は强壯常藥として一日も缺さず服用するなど同社の人蔘は頗る好評を博し今や內地は勿論臺灣、支那、滿洲及び南滿地方到る處に歡迎せられ殊に特筆すべきは同社にては需要者の便宜上官公銀行、會社の勤務者に對しては其の月拂で申込次第送附の上代金は俸給日拂ひ其他は爲替若くは代金引換で註文あれば急送して關稅等は無料であるといふ

に點縱したる…二十五日妻を突き刺したり目前の慘劇に驚きたる妻朴氏も逆上して自殺を企てたり…も知られ存せぬの一點張りにて要領を得ざるより僧夫を目指して…

廣(二)金明得(二七)の兩名は十月十九日忠南舒川郡馬車西水車里にて松浦嘉吉に對し木炭を賣り渡す際長さ四分幅三分厚さ二分位の鐵片…

◎連絡船上陸客 二十九日午前九時釜山入港新羅丸一二等客 一等(六名)岡田碩、木下喜代松、門田正住、木口兵二郎、外人二名 二等(二百三十二名)…

演藝案內

壽座 京城櫻井町 電話五七八番 [illegible]

有樂館 [illegible]

稻荷座 本町五丁目 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 [illegible]

浪花館 京城明治町 電話二六〇 [illegible]

壽館 京城本町 電話一〇五〇 [illegible]

黃金館 電話二六三三、二六六七 [illegible]

株式會社 朝鮮郵船會社 第拾壹回決算報告

自大正六年四月一日至大正六年九月卅日

借方之部

拂込未濟株金、船舶代價、小蒸汽船代價、地所建物代價、貯藏品、什器、保證金代用有價證券、未經過保險料、貸金勘定、銀行勘定、定期預金勘定、支店勘定、各府勘定、收支勘定、合計 [illegible]

貸方之部

株金、準備積立金、船舶大修繕積立金、別途積立金、損害補償積立金、貯藏品代金未拂、仕拂未濟配當金、決算勘定、前期繰越金、當期利益金、合計 [illegible]

利益金處分

前期繰越金、當期利益金、合計、內 準備積立金、別途積立金、役員賞與金、役職員臨時特別手當金、配當平均準備積立金、配當金(年七朱)、臨時特別配當金(年參朱)、後期へ繰越金 [illegible]

右之通候也

大正六年十月廿九日

取締役社長 原田金之祐
專務取締役 吉田秀次郞
取締役 大池忠助
取締役 堀力太郞
取締役 上谷續
監査役 山口太兵衛

右取締役ノ提出ニ係ル書類ヲ調査シ其遞法正確ナルヲ認メ玆ニ報告候也

監査役 松崎文六氏辭任ニ付補缺選擧ノ結果池尾芳藏氏當選致候

相談役 男爵 近藤廉平

購買入札

一、冬服貳百五拾着

右購買入札ス希望ノ者ハ本日以降官報ヲ見ヨ

大正六年十月參拾日

總督府警務總監部

告 京城分會員

十月三十一日午前九時大和町憲兵隊集會所に於て天長節遙拜式擧行候條分會員は參列相成度し

在鄉軍人會京城分會

公告

櫻山鑛業株式會社ハ大正六年十月十三日株主總會ノ決議ニ依リ解散シタルニ付キ同會社ノ債權者ハ本公告ノ日ヨリ三ヶ月以內ニ其ノ債權ヲ申出ヅ可シ若シ右期間內ニ申出無キトキハ淸算ヨリ除斥セラルベシ右商法第二百三十四條ニ依リ公告仕候

大正六年十月二十三日

朝鮮忠淸南道天安郡笠場面良垈里 櫻山鑛業株式會社淸算事務所

淸算人 ゼー、アール、グーリー
同 ゼー、ビー、ヘンリー
同 八十島親德

▲宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

豫報 水

▲京城溫度(十月三十日正午) 測候所 攝氏 [illegible]

奉祝

本店 東京 ◎支店 横濱・京都・大阪・博多 ◎出張店 名古屋 ◎出張所 上海・大連

合資會社 清水組京城出張店

京城南山町三丁目十九 電話三四九番

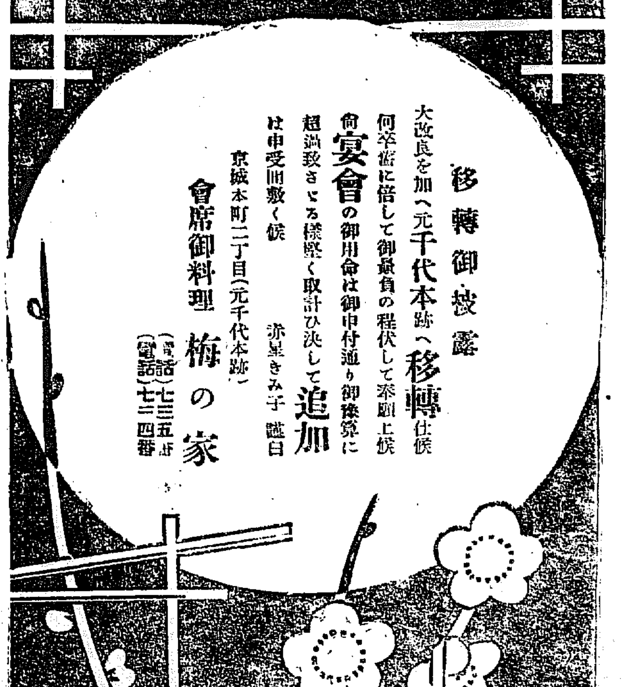
創立明治五年 E通E 資本金五百萬圓

内國通運株式會社京城支店

海陸運送、危險擔保付運送、貨物引換證發行、荷爲替及品代金取立、運賃著拂扱、荷造及市內運搬貨物引取配達、委托商品取扱、倉庫、稅關手續取扱、稅關用紙賣捌、貨物引受配達、其他運送に付帶する一切の業務 日本郵船、大阪商船荷扱店、仁川出帆商船切符販賣

米國ウエルスフアーゴーエキスプレス會社荷扱店 北京、天津、ハルビン、浦鹽、ハバロフスク地方行荷物直通運送。歐米支那行荷物取扱。支店出張所代理店二千五百餘所

電話 708 2980 發送荷 1298 到著荷 179 通關倉庫現場 3132 荷扱所 本町 206 荷扱所 龍山



左甚五郎

第七十席

桃川如燕口演
浪上義三郎速記

甚九郎は不思議に思つて隣家の提灯屋へ來て、甚『少々お聞き申しますが ○『ヘエ 甚『隣りは確か三五郎棟梁の家だと存じましたが、エー門跡棟梁の家であつたのですが 甚『何處か他所へ越しましたか ○『エー本所の方へ越したといふことでございます 甚『ハア、ぢやア何時のことでありますか ○『何に未だ越したばかりで 甚『ヘエー ○『二日ばかり前ですよ 甚『稼業の都合で ○『イエ、何うもお隣りの棟梁もお氣の毒で、お心安い方かは知りませんが、仕事のことでねエ 甚『ヘエー ○『俺共には能く判りませんが、此家に居られないことになつて急にまア御越しになるといふ樣な譯で 甚『ヘエー ○『御承知の通り此門跡樣の大普請が始まつて居るでせう 甚『ヘエ ○『其門跡樣の御普請をまア遣りましたのですが 甚『成程 ○『處が其の仕事を遣りそくなつたのですな 甚『ヘエー ○『京都の大工と江戸の大工と兩方で遣つて居たんです、處が京都大工が彫物が旨くつて隣家の三五郎さんが思ふ樣に出來ねから、斷つてしまへば宜かつたのを、稼業のことだから出來る態をしてまア遣つて居たんで、何とか云つたつけなあれは……エー、俺共は提灯屋のことですから判然存じませんが、何でも唐破風へ金魚が附いて居るんださうで 甚『ヘエー ○『何に然うぢやア無ね、鯱魚とか云ふんださうで、それへ龍を彫付けるので、それを拵へた處が龍だかシヤコだか判らねえ物を拵へてしまつたので、トウ〳〵仕事を揚げられる樣なことになつて、大工仲間へも面目無ねと恁ういふので、土地を離れる譯、鳥渡話しを聞きましたが、本所の方へ行つて棟梁はそれが原因で病氣になつて寢て居るといふことです 甚『本所は何處でございませう ○『達磨横町に升田屋といふ酒屋があつて其の裏へ入つて井戸の前の家だとか云ふことを町内の者が聞いて來て話しをしました 甚『それは何うも有難う存じました ○『何ういたしまして』甚五郎是を聞いて 甚『成程、取付けたと云ふ訳も無し、それに顏出しも爲ねのだが、然ういふ譯であつたか、是は門跡棟梁何にも知らねで俺を定めし怨んで居るだらう、何は兎もあれ仕事を上げられて土地を去るといふことになつたのは氣の毒、こいつは捨て置かれねエ』と甚五郎家へも歸らないで直に本所の達磨横町を指して遣つて參りましたが、升田屋といふ酒屋で尋ねると直に住居が判りました きん『ねエお前さん、只呻吟てばかり居たつて仕樣が無いぢやアありませんか、お醫者樣の藥を呑なければ癒りませんよ』と云ふと もう藥も何も呑ねエ、甚五郎といふ奴も酷い奴だ、なんぼ他人に頼まれたものだからと云つて龍だかシヤコだか判らねエ物を彫てくれるといふのは、そんな物なら彫てくれねエ方が宜い面目なくつて戸外へも出られやアしねエ、若し仲間の者に會ば面を見られる樣な心地がする』と愚痴を云ながらウン〳〵呻吟て居る、女房は藥を無暗に侑めるけれども、只の病氣では無い故當人が何うしても呑ない 甚『御免なさい きん『ハイ何誰 甚『へヱ御免下さい きん『オヤお出なさい 甚『エー門跡棟梁のお住居は此方で きん『ハイ此方でございますが何か御用で 甚『棟梁は御在宅でせうか きん『夫はね少し加減が惡くつて寢て居りますが何誰樣で 甚『エー私は甚五郎といふ大工でございますが、棟梁に鳥渡お目にかゝつて きん『オヤお前さんが甚五郎さん、然うですか、少々お待ち下さい』と待して置いて奥へ入りました

京城旭町三丁目
京染商 つたや
電話一四九七番

入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚病 黴毒 淋病 膀胱病 生殖器 機能障碍
皮黴科
京城明治町二丁目（元政町）
佐藤醫院（電話一一七三番）
日曜祭日午後二時迄

十一月一日九星

舊九月十六日丁亥　本命八白　艮　納　先勝

▲八白　日蝕のきかめ事有日新事見合す 東方は吉 旅行 良 ▲九紫 活気增進の日 轉居入學 命名 引移 藥 ▲一白 話名引料藥等 輕婚 婚禮 吉 [illegible] ▲二黑 拝まれ迷惑の事有日 用心せらるべし ▲三碧 [illegible] ▲四綠 不運の日 事の豫約 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 美麗の日 [illegible] ▲七赤 [illegible]

十一月二日九星

舊九月十八日戊申　本命七赤　酉　開　友引

▲七赤　旋毛まがりの日 [illegible] ▲八白 大當りの日 [illegible] ▲九紫 [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 [illegible] ▲三碧 [illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible]

寫眞
寫眞銅版 亞鉛版 寫眞撮影
京城日報社寫眞製版部

商況

東京株式特電

[illegible]

債券現物特電

[illegible]

公債直取引

[illegible]

深川正米特電

[illegible]

東京期米特電

[illegible]

大阪株式特電

[illegible]

大阪三品特電

[illegible]

大阪期米特電

[illegible]

下關期米特電

[illegible]

雜報

綿糸布見送り

三品市場は例休中の本日入電は現物 [illegible]

綿布龍レー七圓九十五錢

[illegible]

正米ヂリ高 四五十錢高

[illegible]

氣配 釜山筋の買向 内地直接

[illegible]

仁川定期筋の買進

[illegible]

僅かに無檢食品が 保算に連れて弗々商談

[illegible]

下關相場

[illegible]

石油値上げ

[illegible]

各社十錢方の引上 市中建値は

[illegible]

製粉大保合

[illegible]

甲皮殆ど品切 賣人は腰弱き

[illegible]

澤庵と大根 一坪一圓

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物（廿九日）

[illegible]

釜山水産市場（二十九日）

[illegible]

仁川期米 三十日前場（高納會）

[illegible]

天候 大阪 前寄二十三圓五十九錢 晴

[illegible]

返し底強き成行 多く四十一錢と跳ね 押目は又買物

[illegible]

後場例休 十月限受渡高

[illegible]

新甫内氣配 二十錢乃至二十一錢 鞘見當

[illegible]

鞘見當二十錢下

[illegible]

少し中限に比し十錢乃至二十錢下

[illegible]

市場雜觀

[illegible]

店より顯はる 手仕舞商内各

[illegible]

一十錢下鞘の唱へ 堂地は一二

[illegible]

賀田筋の買玉は世間

[illegible]

同筋の買玉は世間 噂程大の

[illegible]

鞘腰入れ來り 力武筋の如

[illegible]

仁川米豆取引所

十一月限 十二月限 [illegible]

青物市場

[illegible]

白米標準値

二十三圓二十錢

小賣白米

一等白米 二十三錢五厘
二等白米 二十一錢

株式會社仁川米豆取引所仲買人
上 高田仲買店
●定期米賣買案內 電信略號表御一覽次第御送附 可申上候
●前金御注文は紹介を不要候
仁川海岸町三丁目
電信略號タツ
電話長一一九
電話三八一 一〇〇

仁川山手町
會席御料理 うろこ
大吹精七
電話六八番

仁川宮町一丁目
鐵物商 壽秋兵太郎
電話三二一番

仁川港京町二丁目
朝鮮雜貨卸商 玉植商店
電話六五一番

仁川港本町三丁目
諸雜貨卸商 井上藤吉商店
電話八六番

仁川本町四丁目
内外雜貨卸商 吉鈴木倭商店
電話一一二番

仁川京町
綿糸綿布卸商 赤松吉藏
電話七六番 別宅一一四番

仁川本町三丁目
貿易商 内海淑郎
電話六一五番

京城電氣會社
仁川支店
電話二二四番
支店長 林慶太郎
電話三三番

仁川各宗寺院佛教聯合會
東本願寺別院
本瑞寺
遍照寺
華嚴寺
妙覺寺
明照寺

仁川精米所組合
力武精米所
加來精米所
辻川精米所
奥田精米所
不二（商會精米部）
天日精米所
濟物精米所
庄野精米所

堀回漕部
川井田通關部
内國通運會社仁川出張所
山田通關部
慶田組荷捌部
福島組
報日組
協同組

仁川港本町一丁目
仁川税關構内出張所
藤島組
主任 大平支山

仁川仲町一丁目
大和組
主任 廣池幸四郎

平壤大同門内
大和組支店

鎭南浦支店

仁川金物商組合
德本金物店
加藤谷本店
村谷商店
付瀬谷商店
美濃商店
白神洋行

外科花柳病婦人科專門
仁川
鶴田醫院
院長 江七サ
電話七三四番

仁川港町一丁目
高杉昇商店貿易部
仁川海岸町 高杉昇商店回漕部
仁川花町 高杉醬油醸造場

仁川港町
光岡造船鐵工所
所主 光岡百太郎

仁川新町
仁川松商油組合
電話五一一番

仁川府支那町
仁川水產株式會社
電話二八六番

日鮮諸雜貨向卸商
仁川京町二丁目
鬼頭商店
鬼頭兼次郎
電話六六番

輸入貿易商
仁川本町四丁目
河野本店
電話二二八番

奉祝天長節

仁川病院
院長 廣瀬一併
電話六〇九番 電話六二番

仁川本町（電話五二九番電略ア）
朝日組
本店 手今吉
仁川税關構内出張所（電話一六番）
京城南大門驛前（電話九一一九番）
京城支店 伊勢吉
鎭南浦西大町五丁目（電話三三番）
朝日組出張所

仁川米豆取引所仲買人（順次不同）
淺組 松太郎 電話長一四番 一三一番
田中金兵衞 電話長一五二番 六三八番
高田仲買店 電話長一二〇番 一一九番
一 仲買店 電話長 一八三番 六二三番
二 今村覺次郎 電話三一六番 七八番
仲買店 電話三九番
仲買店 電話三六番 六七九番
仲買店 電話七一五番 二〇九番
三 荒木助太郎 電話長二一八五番 六二三番
廣澤正次郎 電話長六三二番 六五一六〇番
仲買店 電話三〇九番 自宅六〇九番 一三番
仲買店 電話長八三九番 一一〇五番

米穀商 仁川米豆取引所仲買 三

汽車 京釜線（南行） 同（北行） 湖南線（南行） 同（北行） 京仁線 京元線（北行） 同（南） [illegible]

京城日報
三十一日朝刊（朝夕刊併せて八頁）

天長節祝日

文化内に輯まり、武功外に愆び、五緯愆らず、六氣易るなくして、茲に、叡聖文武天皇陛下寳算卅九を加へさせ給ひ、御誕辰祝いの、佳節に値う。伏して惟みるに、皇室は中外、嚮仰の光にして、臣民歸嚮の府たり。而も我が建國の體制は、萬邦其の美を並ぶるにものなく、宗支の親、古より昭かに、忠孝の義、今に伸び東西古今、[illegible]する也。況んや、陛下聖明、允文允武、上は天祖の鴻猷を紹述し、下は明治の遺烈を顯揚し給ひ、皇謨偕々明かに、國威愈々張り、西土の戰氣、遠く遮るも、東洋の海波は、常に靜也。吾が生、何の幸か、此の聖代に遇ふ、康衢の擊壤、固より讃稱するに足らざる也。今茲十月三十一日、天に祥雲あり、地に瑞氣充ち、旭旗閃く處、山は萬歲の聲を呼び、菊花薫ずるの地、人は千秋の觴に醉ひ。雍熈の象、海内に遍く、輯睦の氣、率土に溢る、殊に吾人權域に在て、新附の民と共に毎年此の佳節を祝す、衷情油然こして、更に尊王敬慕を加ふるもの多し、謹みて、聖壽の萬々歲を祝し奉る。

雲深き九重の大奥

御登極後第五回の天長祝日を迎へ給ひし 今上陛下の御近狀

◇◇◇◇仰ぐも畏き御聖德◇◇◇◇

ほがらかに明け放れたる　此の日三十一日畏くも今上陛下御登極後第五回の天長節祝日を迎へ給ふ、見渡せば四方の風色一しほ鮮かに宇内に翻へる日章旗、陛下に匂ふ菊の花さへ一樣に今日の佳き日を寿ぐ[illegible]大内山の邊り[illegible]千齡や添らん　佳節に際し特に陛下の御近狀を謹記して御聖德の一端を偲び奉らん

今上陛下には毎朝午前六時といふに御起床あらせられ御洗面の上日拝所に出御、御皇祖伊勢神宮に御拝はせられ御朝餐の御儀あり、午前十時には大元帥服に御召換への上表御座所に出御在しまし、内閣宮内省内大臣府等より奏上の御政務を御親裁遊ばされ、又参内の各大臣其他に拝謁御許し付けられ各所管の重要政務に付御下問を賜ひ、午後三時過ならでは御居間に入御あらせられず　陛下の御幼時は侍臣の人々が太く憂慮し奉つたほど玉體は御弱く在したが、東宮に立たせ給ひてより年一年御壯健に向はせられ更に御踐祚あらせられてよりは

一層御健康を加へ

させ給ひ、最近四五年の間、陛下には假初の御病氣だにも在ぬのは萬民の恐悦何物にもたとへ難きところである。かく玉體御健やかに在しませば從つて御動作又御活潑に、畏こけれども御忍耐など並々の者の遠く及び奉るところでない。例へば宮中の御儀式に御神樂の儀と申して、年兩度即ち恒例と臨時と賢所御前に行はせらるゝ御式がある。其の臨時の時は往昔の行事に慣ひて午後三時頃より午前六時まで續行せらるゝのであるが、其の時陛下には必らず出御在しまし—

東天白み鷄鳴三唱するを待ちて

入御あらせられ、然かも其の爲めに何等玉體に御障りもなきは[illegible]推し測らるゝのである。又表御座所に於て御政務を聞はせらるる際の如きも午前十時より午後三時まで實に五時間更に御威儀を崩させ給はず、其の御雨にもせよ、風にもせよ、一旦行幸仰せ出されては容易の事に御中止などの御沙汰は遊ばされぬ。つひ先頃近衛騎兵聯隊に行幸あらせられたる時の如きは

玉體龍顏をあらひ

[illegible]の豪雨にて、雨滴殆んど[illegible]るばかりに拝せられ、近侍一同大いに恐懼に堪へなかつたが陛下には毫しも御厭ひの御氣色なく極めて御平壯に御檢定のまゝ御巡覽あらせられたのは供奉の諸員の今猶ほ恐惶感激措く能はざるところである。今上陛下の御製に

庭の面に萌ゆる蓬をつみためて先の帝につかへまつらん

と申すがある。此は陛下が[illegible]遊ばされし御製と承はる、御孝心の程感涙に堪へぬのである。去れば今回も大演習行幸を御猶豫[illegible]

先帝及び昭憲皇太后の御陵に御親拝

兩陛下御同列にて[illegible]ある陛下には深く準備を[illegible]御孝敬を垂れさせ[illegible]國民の儀範と仰ぎ奉る次第で[illegible]あらせられ[illegible]注がせらる、又過ぐる日の暴風雨の際の如き午前三時頃より御寝所を出でさせ給ひ[illegible]侍從を召させら[illegible]れ深く人民の上を御軫念あらせ給ひ翌日は直ちに日根野侍從を各水害地へ御差遣遊され實況視察の樣々を熱心に御聴召されたるのみならず、御救恤として御内帑金十二萬圓を御下賜相成りたるなど御仁慈の程畏しとも畏し（宮内大臣謹話）

謎（110）

布施生譯

一時間前まで夫人は自分の今の苦に勝る苦はあるまいと思つてゐた、今になつてみると今迄の苦なんかは今に比べて殆んど比較物にもなるまい。夫人は胸どき／＼と頼太郎の答を待つた。頼太郎は愈々悲しそうな表情をして『實は何です。金を預つてそれを使ひ込んだのです。』『まあ、そして大金なのかい。』『いゝえ大金と謂ふんぢや有りませんが、お母樣や僕の手では所詮調ひそうもありませんよ。母樣のお手許にはもう寶石も無くなつたんでしやう。』『父樣のお手許にならお金がありますから』夫人は前に進つて室内を往きつ戻りつしてゐたが『よし／＼私が往つて戴いてあげましやう。』頼太郎は[illegible]それを御止して、父樣は御旅行ぢやありませんか、今夜は御歸宅になりませんでしやう、お金は今夜中に要るのですけれど、さなければ駄目なんです。殘念だけれど死ぬ外はありません、しかし母樣僕はまだ若い身空で死にたくはないんです』言ひながら彼は衣嚢から短銃を出して咽喉にあてた。『あつた、之は』夫人は今や過去の事もすつかり忘れた。[illegible]『幾許いるのだね』『八百圓です。』『八百圓でも可いです』よ、兎に角明日までお待ちなされ』頼太郎は首を振つて『明日ぢや駄目です、今夜でなけりや間にあひません』『今夜?』『何故そんなにもつと早く言つてお出でなかつたの、何故もつと私に打明けてくれなかつたの、今時分誰も金庫へ取りに往ける筈もなし——』『金庫を開けて』頼太郎の眼は俄に喜びに輝いた『鍵の在所は分つてますか』『鍵なら分つてゐます』『ぢやあ——』と言ひかけた頼太郎の[illegible]顏色を見て夫人は思はず眼を伏せて『[illegible]下さい』『そんでもない』頼太郎はけ之よがしに短銃をひねくつた『母樣此の通り命と鈎換へですよ』夫人はもう絶對絶命である。否にもあらず進まぬ足を引摺つて次の室へ入つた。そして間もなく鍵を手にして歸つて來ると直にそれを頼太郎に手渡しやうとしたが此の[illegible]俄に眼を覺ました。夫人は差出した手を引込ませて『いゝえ之は渡せません、此樣悪い事をするのにお手傳はするのぢやなかつた』頼太郎は[illegible]手を合せて『ほんに母樣僕ももう[illegible]を願ひません。其代り何卒もう一度赤坊の時のやうに緊乎抱擁して下さい。僕はもうそれで思ひ殘す事はありません』彼は明らかに自殺の決心を語つてゐる。さう聞くと夫人はぞつとして少し躊躇つた

◎通過船舶　客月中に於ける水道島燈臺以下四十個所の航路標識通過及び出入船舶[illegible]

[illegible]大正五年には二十九萬八千七百[illegible]十八擔となり、確茶は大正四年[illegible]十四萬一千二百十八擔なりしが大正五年には五十六萬[illegible]五擔[illegible]

奉祝
和洋紙文房具商
増田利作商店
京城本町二丁目
電話四二五番

奉祝
醫療用藥品○化學用藥品○擴山藥品○工業用藥品化學用醫療用諸器械
道廳慈惠醫院、總督府醫院、中央試驗所、各御用達
滋養強壯オバルチン發賣代理店
京城明治町二丁目
島久商店
電話一四四四
振替六七七番

奉祝
朝鮮郵船株式會社

紳士方の「御常用」は　に限る！
御注意
一今後賣出の品に郵便切手(色々)封入しておりますから御一覧願上候
東亞煙草株式會社

奉祝
三井物產株式會社
京城支店

奉祝
日清生命保險株式會社
朝鮮出張所
京城黄金町二丁目
電話長一四九六番

奉祝
京城南山町一ノ六
森勝次
電話一五六番

○參議院開院式期

臨時參議院は十一月十日を以て開院式を擧行するに決定せり（北京電報）

○吉林討伐軍編成

張奉天督軍は政府の命に依り吉林討伐軍を編成し孫二十七師長を總司令官に任命し二箇師團の兵を長春に進むるに決せり又馬山遼鎭守使をして長白、撫松地方に備へしめ吳二十九師長をして東蒙古地方に派し吉林軍と土匪との連絡を斷たしむる作戰なりと（奉天特電）

○湖南北軍稍有利

重慶には吳光新氏の第一旅在り岳州より水路輸送中なる一旅の外に湖南より陸行し來らんとする二旅あり多少北軍の有利を語るものゝ如し（北京特電）

○張繼氏融和に努む

廣東に在りし張繼氏は南寧に赴きて陸榮廷氏と會見し孫文氏の大元帥を辭せしめ陸氏をして之に膺らしめ以て兩者の融和を圖らんとす（廣東特電）

○パ高原で決戰を

伊墺兩軍はバインツサ高原に於て決定的戰鬪を爲すべく墺軍は新たに二十個師團を以て同方面に對し攻勢を執りつゝあり英佛軍は伊太利方面に增援を送りつゝあり（倫敦電報）

○クロンスタツト市民の撤退

クロンスタツトの市民は今や愈々同市撤退を開始せり（倫敦電報）

○中村都督動靜

中村關東都督は三十日田遞信大臣を訪問し船舶聯合會其他に就き會談せり（東京特電）

○光瑞師旅順向

大谷光瑞師は三十日朝北京より來奉旅順に向へり（奉天特電）

○西班牙公使東上

駐日西班牙公使カーロー氏は横濱駐在同國領事と共に三十日朝下關發東上せり（門司特電）

○天長節

官廳其他祝賀次第

十月三十一日天長節祝日當日官廳及び其他に於ける受賀及び祝賀次第を聞くに左の如し

▲官廳受賀　長谷川總督は當日午前九時より十時に至る迄總督官邸に於て總督本府並に在京龍所屬官署勅任官一同、總督官房及び各部高等官以下の各部代並に判任官總代の祝賀を受くべく同所屬官署長は各自の官署により祝賀を受けて後總督官邸に參集其の旨總督に申報す可く李王職亦之に準ずと

▲赤十字社の受賀　日本赤十字社朝鮮本部にては當日午前九時より十一時迄本部事務所に天皇皇后兩陛下の御眞影を奉安し社員の拜賀を受くべく拜賀者の

▲觀兵式　午前十時より山縣兵場に於て陸軍觀兵式擧行諸兵指揮官は立花第十九師團長にして以下幕僚之れを補佐す、參加隊は龍山駐屯の步兵第七十五聯隊、騎兵中隊及び朝鮮步兵隊にして右以外の部隊並に隊に屬する軍人軍屬等文官は觀兵式に參列すべし

服裝は男子は制服、フロツク、又は紋付羽織袴、女子は紋服、婦人社員は相當禮裝す可しと

▲大園遊會　長谷川總督は官邸に於て總督府並に所屬官署勅任官以上の職員奏任官總代李王職主要職員、外交團、總督の祝賀を受けたる後午後二時より好適園に京龍の官民朝鮮貴族領事團員等千四百餘名を招待大園遊會を催すべく服裝はフロツクコート同相當服の事なりと

▲總監部祝賀　憲兵隊司令部警務總監部にては午前八時司令部總監部在勤勅任官同待遇者一同の參賀を受け終つて總監部高等官及び判任官同待遇、各總代の祝賀を受け次に京畿道警務部長の祝賀申報を受け祝賀終つて御眞影拜賀を擧行、京畿道警務部及び京城龍山憲兵分隊も之に準ず

▲管理局の祝賀　滿鐵京城管理局にては午前十時より龍山鐵道俱樂部に於て祝賀會を開く

▲龍山祝賀　龍山側は午前十時より新王に於て祝賀午餐會開催、新龍山側は午前十時より電氣會社南方前地に祝賀の遊會開催

▲大正親睦會祝賀　大正親睦會にては午前中櫻井廣場に於て祝賀會を開催す可し

▲京城神社祝祭　午前九時より京城神社に於て天長節祝日祭を行ひ終て一般の參拜者に神饌の拜戴をなさしむる由

○黑龍省民心動搖

黑龍江省省長畢桂芳氏は二十八日省内の動搖を北京に電報し逆心を懷て居ると云へり（北京電報）

○山東出兵不可能

山東省には出兵の命令下れる爲乙に從はゞ山東省却つて危險に陷るべきを慮り督軍張懷芝氏は北京に對し湖南出兵不可能の理由を陳辯す（北京電報）

○輕鐵試運轉

十一月一日より一部の開通を見るべき輕便鐵道大邱浦項間の試運轉好成績

○軍人後援會狀況

帝國軍人後援會朝鮮支會の現況に就き九月末調査狀況を聞くに役員計三百十名會員百十三百十四名合計全羅北道八百八十六名全羅南道九名慶尙北道三名慶尙南道二百卅二名黃海道四名平安南道六十七名平安北道

○大田聯隊移轉期

既報の如く大田步兵第七十九聯隊及び同聯隊所屬各地分遣隊が龍山へ移轉

既報の物産品評會は十一月三日より五日迄三日間邑内に於て開催し併せて水産品展覽會をも

○馬丸は弘濟丸の修繕完了したるを以て卅日より關釜連絡に就航せり（釜山）

○鮮滿の新穀出廻期

鮮銀券は六千萬圓臺に上らん

朝鮮銀行券三十日現在の發行高は五千三百萬圓に達し非常なる膨脹を示したる

▲通貨の膨脹を來したるが既に鮮滿共新穀出廻期に入りしやと云ふに目下の所必らずしも然らざるものゝ如く寧ろ其の貨出しは棉花田方面より繭移入方面殊に棉布綿絲等に於て推進せし模樣あり然らば新穀出廻の豫想は如何と云ふに昨年の如き鮮米は十月末より内地行き米豆の數量各地共非常の勢ひを示せしも本年は僅に群山木浦方面に於て若干の出廻りを見つゝあるも朝鮮全部として通觀すれば尙是從來の期に入れりと斷じ難し然れども滿洲の如きが同地方亦十一月に入らんか不作なりと雖も滿洲の大を以てすれば其の出廻は蓋し少なからざるものあるべく要するに十一月下旬より十二月を迎ふれば新穀資金の漸增とともに年末決濟資金の需要を生じ鮮銀券は六千萬圓臺に上るべしと觀測されつゝあり

○鮮滿鐵道

連絡等級の改正

滿鐵京城管理局にては三十日より滿洲線との連絡乘車等級を改正したるに付左の通り注意を要すべしと

一、十一月一日より滿洲線に於て改良客車を使用するに付朝鮮線の三等は同線の二等、又三等は同線の一等に接續せしむる從來の取扱は其の必要なきこととなりたるものとす

二、改良客車使用と同時に滿洲線乘車賃を左の如く改正す

急行（一等…二等…）　普通（一等…二等…）

備考　賃金計算方法の所要區間の運賃（分を有したる場）に本賃率を乘じ錢の端數は之を一錢に切上ぐるものとす

三、滿洲線内急行列車の運轉せざる區間に發著する同線急行一等及び二等連絡乘車券の賃金は總て行列車の運轉せざる區間は普通一等に依るものとす

四、滿洲線急行一等の手荷物無賃制限重量は別に特定せず普通一等の完扯に依るものとす

○列車時間改正

奉天釜山間直通列車の運轉

滿鐵では鮮滿鐵道統一後の第一施設として十一月一日から奉天釜山間に晝夜二回の直通列車を運轉することゝなつた乃ち安東縣で乘換へでも奉天まで行け奉天からは釜山まで直通が出來るやうになつた同時に列車の時間が一部改正された南大門驛を中心にしてすこし

▲釜山行き　南大門發釜山行きは從來朝の分が午前八時三十分夜の分が午後七時五十分であつたが一日から朝の分が午前八時四十分發となり乃ちこれまでより十分遲れる。然し夜の分は矢張り從來の午後七時五十分である、而して釜山著は同時刻となる

▲奉天行き　南大門發奉天行きは從來朝の分が午前九時十分であつたが一日よりは朝の分が九時五十分發となり四十分遲れ夜の分は均しく九時四十分で何等變りはない

▲京仁線　は殆んど各列車共同時に既報の通りであるが其の詳細は既報の如く改正されたが其の異つた時刻は十分か二十分である、湖南線京元線平南線鎭海線は少しも改正されない

○滿洲線連絡券

十一月一日より滿洲線列車賃金改正に伴ひ乘車船券にして著色を異にするものは新規印刷のもの配合を受くる迄從來のものを使用し賃金印刷したるものは塗抹し上發賣し印刷にして『二等』と印刷あるものは抹消の上發賣すべく尙急行列車の二等連絡旅客に對しては乘車券に（滿洲線急行便等）と記載發行すべしと云ふ但し滿洲線内急行列車の運轉せざる區内に發著するものに對して其區間普通一等とする由

○捕鯨船數定限

朝鮮沿海に於て從事する捕鯨船を法規に限定し且つ之れを一般に知悉せしむるの便なるを認め今般之れを確定し捕鯨業者が朝鮮沿海に於て使用する捕鯨船は之を十艘と定限する件は十一月一日の官報に告示を以て發布の事となれり

○漁業名稱改正

漁業名稱中改正の件は十一月一日告示を以て公布の筈なるが這は前記漁業規則の改正に伴ひ新に許可漁業を設けたる結果該漁業に屬する物の名稱を示せるものなり

○齋藤廠長出張

營林廠長齋藤音作氏は二十七日附を以て熊本、鹿兒島各地へ出張を命せられたり

○米鐵問題近く解決せん

彼我交涉順調に進捗す

米國産鋼鐵を日本へ輸入せんとする交涉は久しく行惱みの姿なりしが最近に至り著しき進捗を見彼我の意見接近し極めて順調に進行しつゝありと信ずべき理由あれば該問題も近く圓滿なる解決を見るべし（東京特電）

○獨軍退却の魂膽

ペル半島上陸の獨軍は單にリガ灣海岸に上陸せんとする目的の爲めに行はれたる示威運動に過ぎず其の上陸地點は多分ペルナウ附近なるべし又ガリシヤ方面ソクル及びレンベルヒ線へ獨軍の退却せるは露軍を背後より攻擊せんが爲めリガ市に引著けんとする運動ならんと（露都電報）

○約一年獨逸の捕虜

となりし若澤小雛丸船長語る

夕刊所報十一箇月間捕虜として獨逸ハーベルバーク收容所に在りし村井組小雛丸船長若澤太吉氏（夕刊小澤とせしは誤り）は歸朝の途次連絡船高麗丸船中にて語つて曰く小雛丸は佛國に傭船中昨年八月二日アレキサンドリア沖二十五哩の地點にて獨潜航艇の爲めに擊沈され乘組員四十三人は解放されしが

▲予一人は捕虜　となり獨艦カタローを經て十月十四日オスタバークにて遞に引渡されたる林のハーベルバークなる非戰鬪員收容所に收容せられ本年九月二十六日迄で十一箇月間同所に在り同日釋放せられ瑞典のトランルボークに向ふべくストックホルムに著せしも汽車の切符は一向發賣せざることゝ成り居り十日間滯留する中内田公使の盡力にて乘車の便を得露都に著し伯利亞線により滿洲を經て歸朝の途に在り獨逸の捕虜となりし日本人は予一人にて同國にての待遇は

▲決して酷遇　ならざりき收容所はバラック建なれども六四五個の一棟に百二十人を收容し一室に六個のベットを据ゑ別に食堂の設けあり食料は予が俘虜なりしより上等の麵麭を供給し國より送られ日本政府よりは乾麵及び鑵詰品を送り越され何等不足を感ぜざりし他の多くの捕虜は健康を保つ丈けの粗末なる給與を受け居たり收容所には娛樂の設備あり獨逸國民は

▲實に擧國一致　して戰鬪に從事し稍齒まで意氣込みにて聯合國を倒さゞれば止まざる意氣込みにて男子は總て戰鬪準備を爲し居り女子は耕作其他勞働に從事し老女小兒迄は燃料を運ぶ等其の勞役に從事しつゝあり而して市民の食料は麵麭一日二百五十瓦、肉類は一週間一磅、卵、麵麭は黑麵麭にて至つて不味なれども國民は餓ゑず凍えざれば足れりとて節約し居れり然れども征兵士に對しては充分の給養に勗め兵士の着服に襤褸布の當らざるは無し獨逸の食料は窮し居れりなど諸國の新聞紙に記載しあれども充分にはあらざるべきも國民の生命が騷ぐには更に不足なかるべし

▲與國も亦同樣　なり且つ獨逸は土耳古に對し食料彈藥を供給し居れり彈丸も盛んに製造しつゝある模樣なれば聯合國の考へ居る如き講和條件は現下の戰況にては到底獨逸の承諾する處にあらざるべし戰爭は尙數年繼續するも獨逸は覺悟し居れり露國の如き勞働者並に兵士等厭戰して恰も無政府の如く混亂せる狀態とは大いに趣を異にし居れり獨逸は予の出發迄では國民に於て戰爭に對する何等不足の聲を聞かざりき只管戰爭繼續の準備し居たり（釜山特電）

○人の動き

▲野村一郎氏（總督府囑託技師）三十日東上

▲無利平氏（群山朝鮮殖產主）三十日夜入　京城ホテルへ

▲宮入十郎氏（八幡製鐵所技師）三十日夜入京

□百鬪百種□

英國詩人セレー、キーツ、バイロン、ブラウニング等は▲伊太利を以て最もインスピレーションの豐な土地と目して居た▲又それに負ふ處が大であつたが現代の米國詩人も此樣に又た宿縁に伊太利に負ふ處が尠くないと云ふので▲報恩の機會もがなと待つて居た處が▲伊軍の正面には自動車が尠いと聞いて早速其れを送らうと相談一決▲直ちに委員を設け檄を飛ばして一募集して二千弗のもの少くとも五十臺を月間に作り▲至急伊軍の正面に送ると目下奔走中である相な▲之れを聞いた音樂家連も負けてたまるものかと大に發奮して▲少し趣向を變へて傷病兵の救恤金として少くも百萬弗を募集しみ些少ながら報恩の印にまで米國音樂家より歌の國へとして寄贈すべく之れ亦奔走中だとの事▲されば伊太利たるもの大に盛り返して其の元氣を示さねばなるまい

□本紙休刊　三十一日は天長節祝日にて定例休刊に付同日附夕刊及び十一月一日附朝刊は休刊す但し緊急事件は即時號外を以て報道する事あるべし

本日總督府公文號外添付

奉祝

京城黃金町一丁目

不二興業株式會社

電話八八番

奉祝

アサノ　スレート

淺野セメント株式會社京城出張所

淺野スレート株式會社京城出張所

京城黃金町長電話六六二番

奉祝

住宅　京城大和町二丁目　電話六八三番

民事商事專門　辯護士　辯理士　特許法學士　辰市本丸

事務所　京城鐘路通一丁目　電話八三一番

國華馥郁たる天長の祝佳節

國産サッポロ黑ビールに

祝盃を擧げ陶然として醉ひ給へ

大日本麥酒株式會社京城出張所

◎四川三軍の現狀
四川軍は内江を回復し雲南軍は重慶方面へ退却し雲江に在る二千の貴州軍は中立を保てり(北京特電)

◎メナン市民も撤退
アムステルダム來電、フランダースに於けるメナン市の一般市民は今や同市より撤退しつゝあり(香港電報)

…は二十日午前十一時五十分大邱を發車したるが支障無く試運轉を了りて同日午後五時二十一分大邱に歸着したり(大邱特電)

…千五百二十四名を算するに至れり而して之を各道部會別に見るに支會本部二十八名京畿道百九十四名忠淸北道十三名忠淸南道廿名…二十七名咸鏡北道七名なりと尚其他各道部會共會員の擴張に從事し著々として良好の成績を擧げつゝありと

…轉するは多分十二月二、三日頃なるべしと(大田)

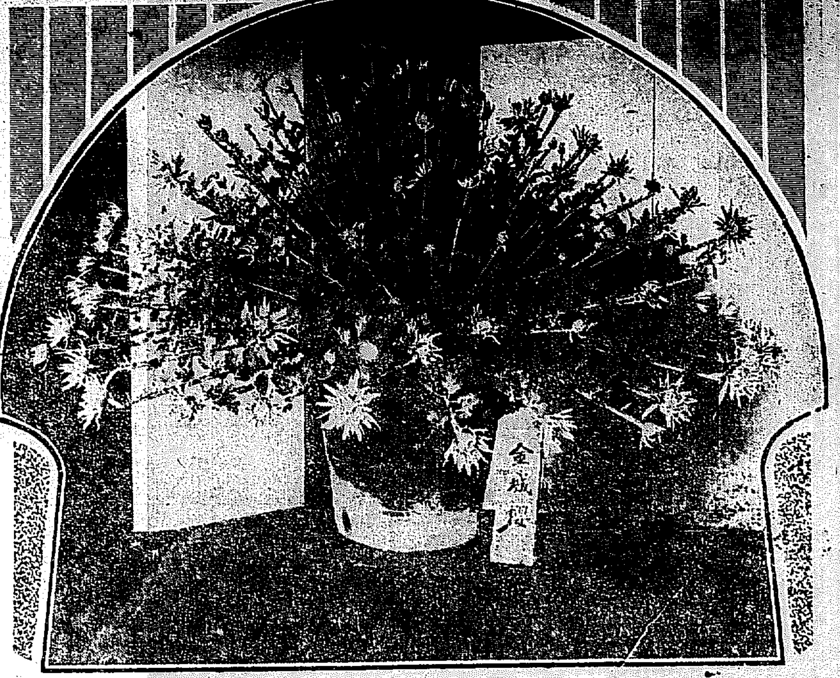
◎畜牛農産物品評會 江原道北部五郡聯合畜牛及び…京山に…

◎對馬丸の就航 青森函館間連絡船弘濟丸の代船として同航路に就航し居たる關釜連絡船對馬丸は…

…務所より…出張所…任したる久門雄二氏の送別會を十一月一日午後七時より富士屋に於て開催の筈(大田)

◎譽れの菊花

我が皇室を代表し奉る御紋章として長へに光り輝く十六菊



菊(一)これは大和町三丁目竹又雄一氏の栽培に成つた『金城櫻』の千輪咲きです、此の栽培法は名古屋が元祖だといふ說もありますが竹又君は石川縣の特産だと主張して居ます幹は昨年の親分で唯だ一本ですけれど七寸許りの處から三本の主枝を出し、それから枝に枝が岐れし合計三百三十輪の花が著けてあります、枝の長さ三尺餘四方八面に咲き擴がつた處は何ともいへぬ立派さで京城には初めての菊だと誇られて居ます

菊の名稱

菊と云ふ文字は無論支那から來て、漢音の訛傳其儘です。朝鮮語のキュ(くく)も同様です。日本の本來の名稱はカワラヨモギ又はカリヲハギですが、簡單な舶來の名稱に壓倒されて仕舞つた形です古事記のク、リヒメに菊理媛を宛てゝありますが此は後世の寇字かと思ひます。日本の文獻に

初めて菊と云ふ文字

が現はれたのは桓武天皇延暦十六年十月の御製『己乃己呂乃志具禮乃阿米爾菊乃波奈知利曾之奴倍岐阿多羅藝乃香乎』と云ふが始めてだと云ふ說が眞實だらうと思ひます。此年來の事は後で御話致しますが、其異名に至ては

實に數百を擧げる事

が出來ます。漢字の菊の元は蘜で、花節等も通名です。范成大鋼蔓史正志の菊譜、花史左編、季芳譜等にもうんざりする程名稱が擧てあります。歐洲語では、學名にも俗にもキクサンテムーム、で、國に依て發音に多少の違があるだけです。此語原は希臘の金(クリソス)と花(アンテモン)の二語から組立てられた物で、支那語の

黃華と匹敵

する詩的の名稱が、其儘學名となり、俗語とも成つたのでしせふ。最も中には十數種あつて吾々のいふ和菊はクリサンテムーム、インヂクム、クンネで、歐洲では日本菊で通つて居ます。但黃華で思出すのは新井白石の種物進化論に對する卓見です。

菊(二)宮中の菊は有名な事の撰で『御殿の菊』[illegible]の栽培者は淨土宗法院の[illegible]以明氏ですが氏が菊に對する技術に就いては既に定評があるから玆には亢々しく申しません。唯だ氏は栽培の目的が運動に在るためつて菊の手入れは毎日朝の三十分と午後の四十分と限られた時間の運動で今年は八十二歲

白石の隨筆

中に『長崎伊予守元仲の從者に高田勘四郎と云ふ者があり。種々の色の菊か三年前にして黃色に變せしを、當人に思ふに是に元黃なる物を人の力にて種々の替りも出來しにやと云ふ也。此者元來無學の者にて、黃の黃色を正色とする捺ふ事を知れるに非ず、唯其の見る所に據りて云ひし所也。

尤も奇妙と云ふ可し

と見ゆしかし人力の天に勝つ所有りと見ゆしか、其の天なるものは、得て加ふ可らざる所有る也。人の心術爾に盡きて心得あるべき事なれば、其人の名をも玆に記し置けるなり、云々』實驗科學にこそ據て居ないが、種々の草花の人工陶汰を經し物は必ず

元種に還元

すると云ふ原則をちやんと心得て居て、多少哲學的の說明を試る等、今日のヘッケルの學說其儘であつて、中々に盡きぬ面白味がある。

菊花の植民

今日の秋菊の原種が支那より渡來せしは間違も無い事であるが、扨て何れの年代であるのか判然しない。本朝事紀に、仁德天皇七十三年に始めて唐より菊種を獻ずとあるが、果してさうだとすれば、千五百三十二年前であるが、當時の記錄としては古事記と日本書紀以外に無い際だが

仁德天皇六十七

から八十七年迄は何事も載て無いから甚だ怪しむべきである、よしや此代に渡來したとしても、奈良朝時代迄は全く忘れられた物で平安朝以後になつて盛に成つたのであらう。前に云つた桓武天皇の御製は延暦十六年だから今日から千百二十年前である。何物をも日本化せねば氣の濟まぬ日本國民は驚くべき消化力を發揮して、今日の變種は

全く日本人の手に

成つたと云つても過言でない。彼の誇るべき正菊即ち狂菊の如きも我國に於て完成されたものである。皇室の御紋章は元旭日の形だそうですが、十六菊は正しく皇室を代表した名譽あるシムボルと成りました。歐洲には一六八八年今日の菊八種和蘭人が持て行つて育てたが、殆んど滅じて百年許り中絶して一八二六年佛國人に携へられて南フランスのツーロン港の郊外に移植せられたのが今日歐羅巴にある

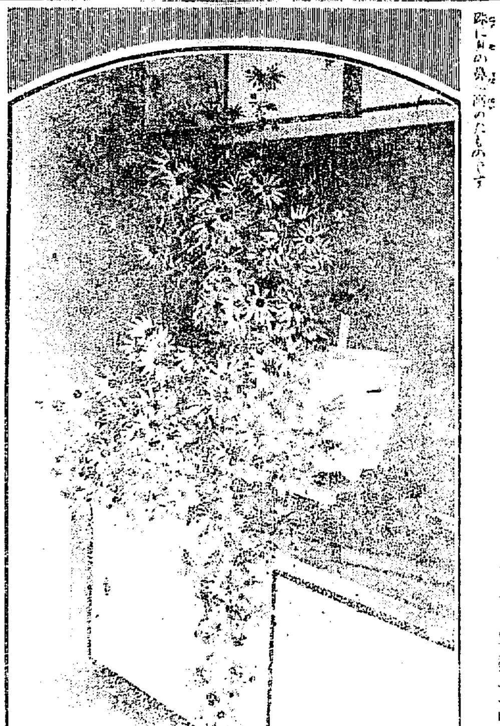
菊の中興の祖とも

云ふべきで私が好きですから方々の菊を見たのですが七月にペトログラードで永樂の園を立派に開花さして居たのは驚いた。此は苗を温室に育て、一定度に大きくなれば、漸次に冷室に移して云はゞ人工的に秋の氣候にした部屋に入れて開花を急がすのだそうで、温室よりも數等金がかゝると申して居ました。一輪當り五ルーブルと云ふ札附ですから五輪附の鉢で二十七圓です。高價なものです。ロンドン名所の市街中菊專門の一棟があります

何千坪の構内が凡

て菊の花に埋つて居ますから目も醒る計り綺麗ですが、扨て一本宛取て見ると色彩濃厚に過ぎて、肥の菊や狂菊の淡粧を賞翫する日本人の目からは少々下品に見ねますが、此は國民性の然らしむる所で致方は無いのでしせふ

佛蘭西は中々大鉢物が流行です。ミカドと云ふ花銘の四百輪から附て居り、作上げの直徑五メートルと云ふのですから、先づ十四五疊敷の座敷一杯で阿技師あたりに持て出ても一寸ひけを取らぬ大物です(工藤武城氏談)



菊(三)此の資料は[illegible]けれど内地では盛に觀賞されて[illegible]際に[illegible]のものです

◎優等淸酒名譽

今回朝鮮酒品評會に於て優等の月桂冠を得たる淸酒大邱府齋藤榮作氏の長壽、釜山府辻酒造株式會社の菱正宗、群山府上野源一氏の萬歲は何れも三十一日總督府に於ける天長節奉賀會の饗用品となり模擬店陶々亭に於て來賓に供せらるゝことゝなれり

◎仁川奉納相撲 仁川濱町杉山店其他有志の發起にて仁川海岸埋立地に於て天長節奉祝の爲め素人相撲を催す由

◎仁川菊花品評會 仁川秋芳會にては三十一日天長節及び一日の兩日宮町元谷本店跡にて菊花品評會を開く由

◎仁川諸由大會延期 三十一日天長節に仁川神社に於て催の筈なりし仁川諸由大會は都合に依り來十一月開催の事に延期せり

◎詐欺取押 長崎縣南松浦郡生れ當時本町大陸旅館止宿無職浦江種雄(四十)は十月二十四日詐欺取財にて本町署に拘引さる(不動)

旗日の遊び場所 昌慶苑の秋色

菊は今がおあつらへの見頃

昌慶園植物園の菊花は三十一日の祭日に御誂へといふ程に咲き出しました。名花『磯毛の瀧』『其の紫雲殿』『天の眼』『新水亭』『月』『永樂の園』外二千有餘鉢の大輪小輪は主任の丹精で今を盛りと今日の目出度き祝日を壽ひて居ます。野趣、小輪、山菊は可愛らしく而かも美はしなる紅紫白の裝ひを凝らして雅客の杖を止めさせます。此の他世界の珍草奇樹を蒐集したる、山水前面の所謂東洋一の大温室に今や南洋其他の珍らしい艸木が蒼々と繁茂し、ゆかしき香りを放つて居ります。更に水亭より花壇を經て動物園に到る遊苑の秋色は悉く是れ自然の錦繡を織りなして優に昌慶苑丈けで一日の清興を恣にする事が出來ます

徹夜で球撞き

◆◇倶樂部物語りその二◇◆

公使館時代の盛んな撞球趣味

京城に倶樂部と名のつくものが出來たのは明治二十八年頃、今鐘紡の中川湊氏が住んでる所の裏手に日本倶樂部と稱するものが建てられて撞球臺が二臺程置かれたのが始めであつた、その以前は二十二三年頃から

◆◆領事館 の中に玉臺を備へておくに過ぎなかつたのだが、その頃の領事だつた秋月左都夫氏が公使館で同じ部觸れで突いてゐても面白くないから官民共同の倶樂部にしようといふので、茲に

プールの稽古にボーイを東京へ

設立される事になつた、これが抑も大正倶樂部の前身ともいふべきものだつた、その後其處では不便だからといふわけで富田鈴吉といふ人が今の巴城館の直ぐ隣りだつた自分の

◆◆邸内に 新築したがこれは三十三四年になつて燒失したので暫らく中絶してゐたがその内公使館が出來、林公使、大江卓、萩原書記官などといふ人が續々やつてくるに方つて、これ等の人々の發企で倶樂部をもつと擴張する事になり、民團役所の樓上に相談を開いた結果一人に就き二十圓宛出金した上に京城道から二十圓、三井物産、第一銀行から千圓、林公使、大江卓氏などが二三百圓位出して

◆◆基金を 集め今の京城ホテルの所へ煉瓦造の建物を建て、之れを日本人倶樂部と稱する事となつた、この時面白かつたのは四ツ玉の臺を二臺も三井物産に頼んでその當時東京にもまだ無いといふ立派なポケットの臺をボンベイから買入れたがプールを知つてゐる者が一人もゐないので日本人のボーイを態々東京へ習ひにやつてそれが歸つて來てから皆が競つてプールを突たものだつた(つゞく)

◎小說休載 原稿未着の爲め已を得ず休載す、愛讀者諸君に幸に不惡御諒察を乞ふ

大好評!!!
新規撮影 木村猛夫出演
新派悲劇 月の都
大詰實演 北海道監獄親子面會の場は見るものをして如何に袖を絞らしむるか正に最大悲劇
本日晝夜開館 黃金館

奉祝
京城本町二丁目(電話三一番・五〇七番) 巴城館
京城本町二丁目(電話一〇三番・二一七番) 浦尾旅館
京城本町二丁目(電話三二五番) 山本旅館
京城南山町二丁目(電話六九四番・七二三番) 天眞樓
京城旭町二丁目(電話七一九番) 不知火旅館
(いろは順)

本溪湖炭 煙臺炭
最も多くの固定炭素を含み『カーヂーフ』炭に類似せる石炭なり
適當に酸素を供給せば八千『カロリー』の强熱を發する石炭なり
適度の粘結性を有し多くの骸炭分を含める良質の石炭なり
半無煙の石炭なり
固定炭素量尤も多く百分中七五七四平均を有する石炭なり
本溪湖炭は『カーヂーフ』炭と同じく船舶燃料殊に遠洋航路に適す
本溪湖炭の骸炭は冶金用に尤も適當し且又本溪湖製出の骸炭は其質堅く發熱力强く鎔鑛及鍛冶用に適當せり
本溪湖炭は尤も火持ち永く一度完全に燃付くときは本炭と等しき丈け保火し得る良炭なり
煙臺炭は家事用に使用するも煤煙の患なく常に室内の清潔を保つ
煙臺炭は煉炭製造に適す
煙臺炭は一般工業用に亦適し殊に不完全燃燒爐に之を用ゆるときは其品質を優良ならしむるの特點あり

撫順炭
其層厚二十尺以上百九十尺に亙り全層を通じて同様の性質を有せる炭なり
其色漆黑にして光輝强く炭質硬堅なる石炭なり
揮發分に富み尤も燃付よき有煙石炭なり
灰分極いて少量にして『クリンカー』を生ずることなく燃燒十分なる石炭なり
硫黃分を含有すること少なきが故に汽鑵の鐵板に損傷を及ぼすこと少なきイ炭なり
一撫順炭は汽罐燃料用として日本産一等炭に匹敵し特に鐵道機關車及船舶焚料に適す
一撫順炭は特徵として揮發分多きを以て瓦斯製造用としては最優等の石炭なり
一撫順炭は一般工業用には尤も適當せり
一撫順炭は著火力に富み家事用としては尤も便利德用なり

南滿洲鐵道株式會社
鑛業部販賣課京城出張所
京城南大門通五丁目(電話四一七〇番)(電信テコ)
龍山京町 電話二〇三番 同 貯炭場

奉祝
印刷製本
京城南大門通二丁目
土佐紙株式會社京城支店
電話長三一五番 二二七〇番 電略『〇ニ』 振替京城八五九
和洋紙販賣

奉祝
◎良品は經濟なり ◎我社の製革は强靭にして舶來品を凌ぐ ◎我社の製革は堅牢にして耐久力に富む ◎而して其價格は頗る低廉なり
永登浦 朝鮮皮革株式會社
京城南大門通 朝鮮皮革株式會社販賣所 電話一〇八番

奉祝
京城本町二丁目
平田商店
電話六九五番 三二八番
振替一〇八三番

奉祝
株式會社第一銀行京城支店
株式會社百三十銀行京城支店
株式會社十八銀行京城支店
株式會社朝鮮商業銀行
株式會社韓一銀行
株式會社漢城銀行
株式會社京城銀行
株式會社漢湖農工銀行

奉祝
會席御料理
京城本町二丁目
花月
電話五七番 電話三三一番

奉祝
御料理
京城旭町一丁目
千代本
電話二二三五番 電話二七七九番

奉祝
御料理
京城黄金町三丁目
清華亭
電話二五番 電話八一三番

今々今が植え時期
丹波栗苗木大讓
丹波國氷上郡和田 栗樹家中岡商會

撫順炭 ピッチ入煉炭 骸炭 石炭 煉炭 商
仁川支那町電話八一九番
村谷石炭部

慶田組輸出部
慶田組荷捌部
慶田組濱精米所

仁川本町四丁目
野口商會
電話一七三・七五〇番

仁川本町二丁目
北島藥店
北島傳三 電話二三四番

貿易酒造商
仁川本町四丁目
吉金喜三郎
電話七七四番

濁酒賣出し
仁川花町二丁目
上城酒店
電話七五八番

銘酒周防灘最上醬油
釀造元 仁川花房町二丁目
豐田商店
電話六四八番

仁川本町四丁目
磯永洋服店
電話二五番

菓子並掛物類 御贈答品販賣
仁川京町二丁目
松浦本店
電話八〇二番

仁川宮町
會席御料理
榮亭
電話四二九番

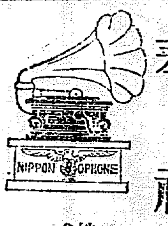
仁川松坂町
久野硝子製造所
電話五三四番

仁川濱町
會席御料理仕出し
三吉野
電話四〇八番

仁川本町二丁目
米穀商
平山松太郎
電話一五三番

仁川本町電話五一番
奥田本店羅紗部
奥田商店京城出張所
奥田商店大田出張所
仁川山手町電話長六〇八番
奥田精米所
仁川海岸町電話七〇五番
奥田濱精米所

齒科診療
東京齒科醫學士
仁川山手町大門通
飯塚喜四郎
電話三五〇番

奉祝

株式會社日本蓄音器商會
京城本町二丁目二九
電話二二八三番
振替京城六八四番

京城旭町一丁目
京城
日丸水産株式會社
電話一〇八番

京城黄金町一丁目
京南自働車商會
電話一六四〇番
自京城至忠州、自水原至呂州市內時間貸

京城本町一丁目
江戸川
長電話一四六番

京城南大門通二丁目
羅紗商 直輸入
丁字屋洋服店
電話六一三・九〇三番

京城旭町一丁目
御料理
喜久家
電話一三八三番

京城本町一丁目
和洋金物 大工道具 各種諸世帶道具及物類一式 マニラロープ其他綱物一式
橋口商店
電話一四二番

陶磁器特約販賣
金物塗器御小賣
並ニ陶磁器繪附
紋入印入調製
京城府本町二丁目
大塚覺藏商店
電話一六二番
電略オヌハオカ

京城本町一丁目
美術貴金屬品製作
高木金細工店
電話九九一番
振替九〇番

奉祝天長節
仁川醫師會員（いろは順）

井上藤香　井水柳軒　飯塚喜四郎　小倉柳助　小川清　川畑佐熊　高木助市　鶴田秀穗　能治太郎　久木田直熊

松本要太郎　松田洙理八　高徹　天辰親夫　荒川正雄　淺井釡三　佐藤小五郎　櫻井宗吾　菊池徹　壬生一夫　廣瀨併二

奉祝
京龍材木商組合

白神洋行

白神支店

白神鐵工所

活版石版和洋帳簿製造
京城旭町一丁目
中嶋印刷所
電話二千百八番
振替京城二百二番

京城南大門通三丁目
高杉出張所
電話九四六番

陸軍御用達
藤田商店
京城本町三丁目
藤田米三郎

奉祝
京城明治町
城六太
電話九六一番

奉祝
京城本町三丁目
東京天ぷら 井料理仕出
松金
電話六八六番

奉祝
貴金屬美術品一式
製作販賣
京城本町ノ二（明治町入口）
店主 土橋珍松
吉川金光堂
電話一五五番

奉祝
京城南大門通り四丁目
洋鐵商
德本支店
電話長二四〇番
電略トヌハトク

奉祝
京城本町一丁目郵便局前
印刷用諸紙 洋紙 帳簿 文房具 諸小間物
北內商店
電話一一五二番
振替口座京城一五九番
京城本町一丁目横町
同印刷製本工場

奉祝
京城旭町一丁目
御料理
千成
電話一五五二番

奉祝
京城本町三丁目
近藤金物店
電話一五六二番

奉祝
京城旭町一丁目
土木建築請負
阿川組
電話一二八番

奉祝
大山商店
京城本町三丁目
電話一五五九番

奉祝
京城府南大門通三丁目
雜貨 銃砲 火藥 釣漁具 輸入 洋家具製作
藤木商店
電話千五百六十番 五百八十三番
振替京城二二四番
本店 仁川本町二丁目
出張所 青島膠州町

奉祝天長節
京城永樂町二丁目
提灯 雨傘 折
石野商店
電話二五一〇番

仁川濱町
旭屋旅館
電話長二五一番

仁川東公園
會席御料理
八坂樓
八坂ユリ
電話三六番

奉祝
冬衣全部荷揃 下落低値の品入荷致候
コンナ時に買わないと損です
京城本町三丁目
橋詰呉服店
電話一八〇一番 振替京城一五六番

奉祝天長節祝日
洋鐵鋼鐵管諸機械工具類
鑛山用品並一般工業用品
南方商店
京城南大門通二丁目 電話長一六八九 電信略號ミ 振替口座京城一九三四番

奉祝
京城南大門驛前
米、雜穀、麩
肥料貿易商
中嶋竹次郎
滿洲製粉株式會社一手販賣特約店
電話二四五六番 電略（タ）又ハ（タケ）
振替口座京城一一二四二番

奉祝天長節
京城太平通一丁目
石塚法律事務所
電話一六三二番

奉祝
割烹
京城旭町一丁目
壽美家
電話一三四三番

奉祝天長節
京城新町遊廓
組合員一同

奉祝天長節祝日
有鄰生命保險株式會社
朝鮮支部
京城黄金町二丁目
電話長一三五六番

●害蟲全部終熄 …九月下旬…萬七千餘圓の被害を蒙りたるが今や兩者とも全部終熄したりと

●…貨物の引繼 …に際し荷扱事務は…直接交渉…之が引繼を爲す…帆船二千百十六隻なりと

●支那茶輸出減 大正四年中の支那紅茶輸出額は…百十二萬六千六百八十九擔に減少せしが…小京磚茶は大正四年に二萬七千…へし結果如上の輸出減少を見しもの…なり

●大田兵舍檢閱 …

●鮮童雇傭增加 …今回工場法の…